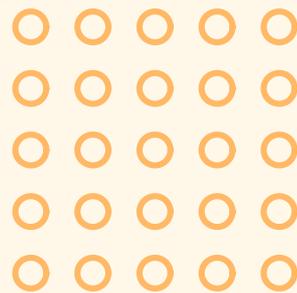
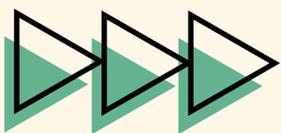


文部科学省

総合職

令和6年度
内定者の声



文部科学省



内定者一同ご挨拶

皆さん、こんにちは。この度は『令和6年度版 文部科学省総合職内定者の声』をご覧いただき、ありがとうございます。この冊子は、文部科学省に興味を持ってくださった方に、様々な情報をお届けしたいという思いのもと、令和6年度の総合職内定者全員で制作しました。

「教育」「科学技術・学術」「スポーツ」「文化」

文部科学省は、この広範かつ直接未来に繋がっていく4分野を所管しています。一方で、高まり続ける多様性、AI・IT技術の発展により加速度的に変化してゆく社会、世界各地で勃発する紛争など、わたしたちは今、未来を見通すのが難しい時代に生きています。

そうしたなか、私たち内定者が何を思い、考え、経験し、そして何を実現したくて文部科学省の門を叩いたのか。この冊子を通じて感じ取っていただければ幸いです。また、就職活動をはじめとして皆さんが進路を選び取る際の一助となれば、心から嬉しく思います。

皆さんが自身の思い描く未来へ進めますよう、私たち内定者一同、心の底より応援しています。

令和6年度
文部科学省総合職内定者一同



C O N T E N T S

01	内定者統計	----p.04-p.06
02	総合職試験情報	----p.07-p.15
03	官庁訪問体験記	----p.16-p.29
04	就職活動体験記	----p.30-p.36
05	文部科学省に決めた理由	----p.37-p.39
06	インタビュー	----p.40-p.47
	<ul style="list-style-type: none">• 学部卒• 地方大学出身• 院卒&独学• 技術系既合格	
07	内定者プロフィール	----p.48-p.64

01 内定者統計

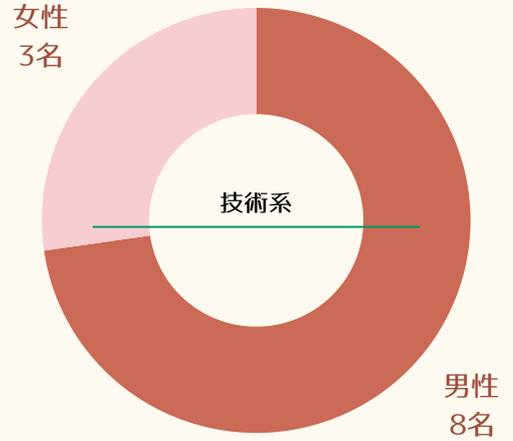
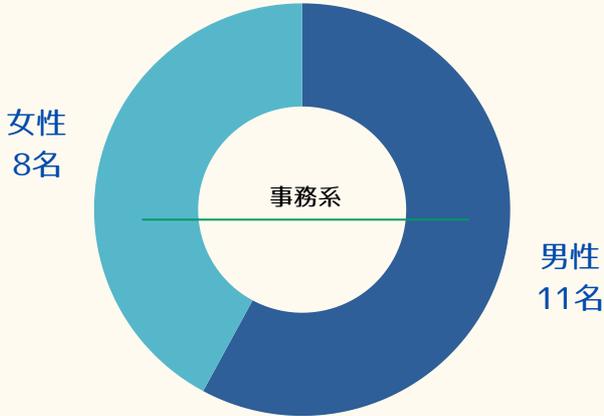


- | 02 総合職試験情報
- | 03 官庁訪問体験記
- | 04 就職活動体験記
- | 05 文部科学省に決めた理由
- | 06 インタビュー
- | 07 内定者プロフィール

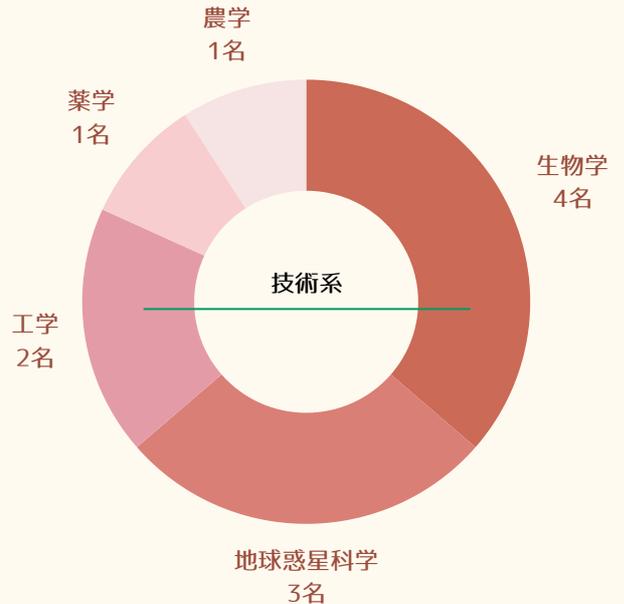
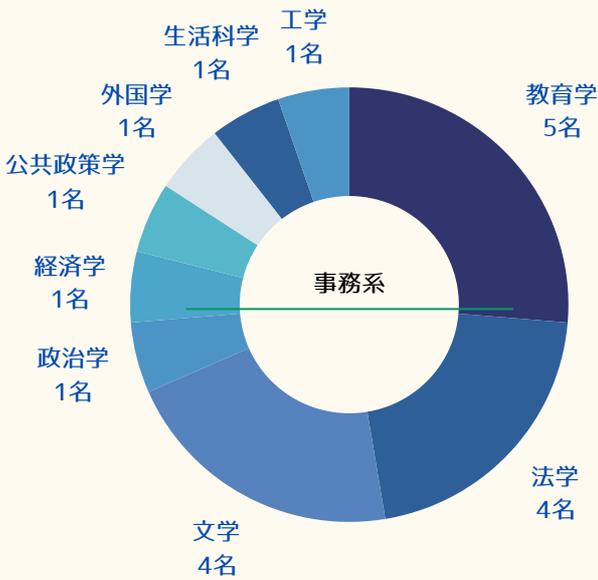
内定者の属性

計30名（事務系19名（うち施設系1名）+ 技術系11名）

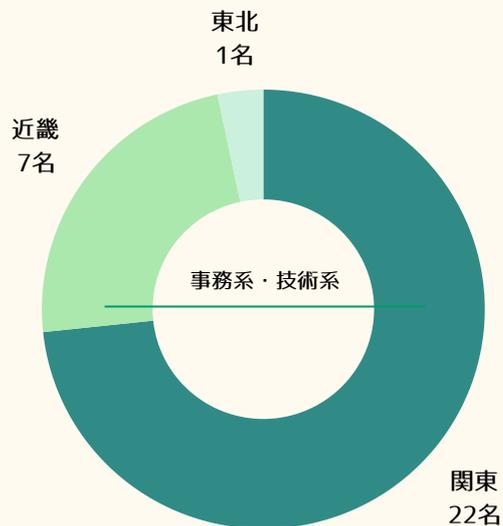
男女比



専攻



出身大学所在地



01
内定者統計



02
総合職試験情報

内定者の属性

計30名（事務系19名（うち施設系1名） + 技術系11名）

最終学歴

【事務系】

学士...13
修士... 6
博士... 0

【技術系】

学士... 2
修士... 7
博士... 2

留学経験

事務系 1名

🇨🇦 カナダ（オンライン）

技術系 1名

🇺🇸 アメリカ

取得資格

教員免許 7名
学芸員資格 1名
基本情報技術者 1名
薬剤師免許 1名



01
内定者統計



02
総合職試験情報

01 内定者統計

|

02

総合職試験情報



|

03 官庁訪問体験記

|

04 就職活動体験記

|

05 文部科学省に決めた理由

|

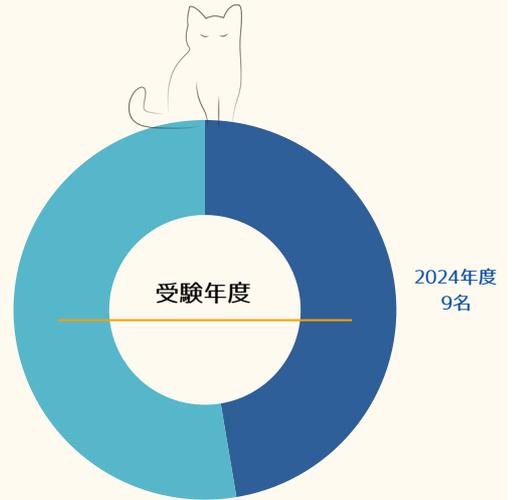
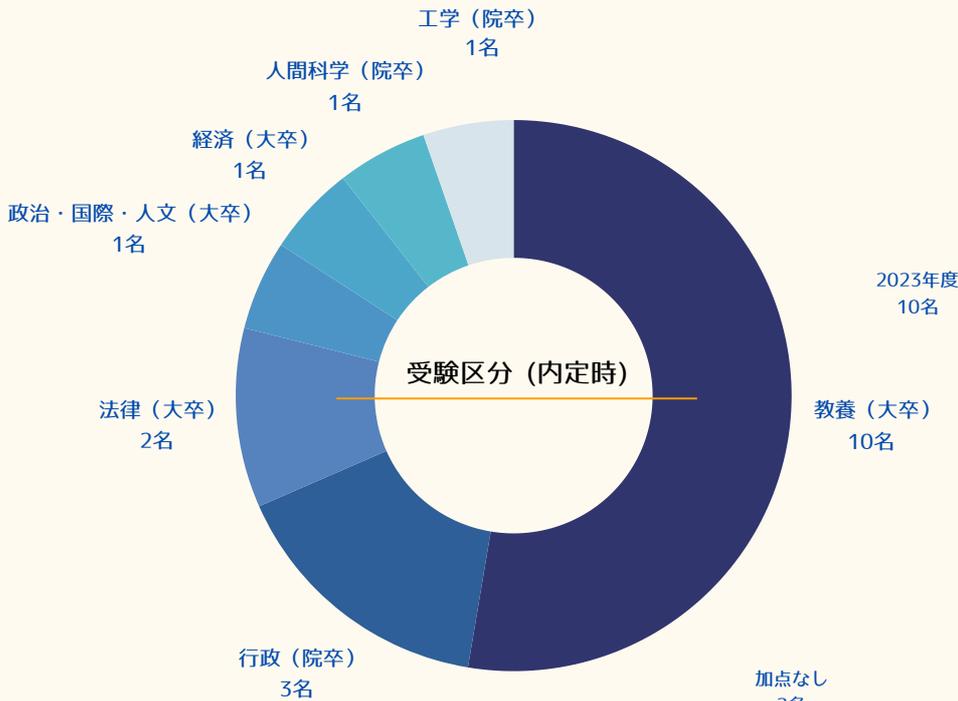
06 インタビュー

|

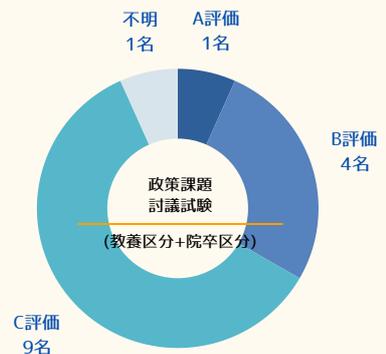
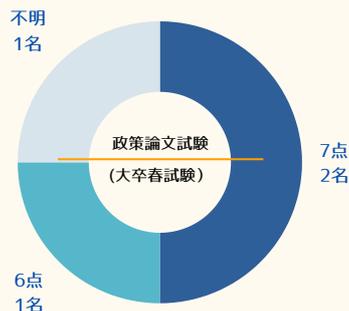
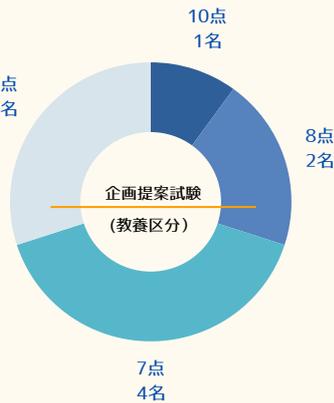
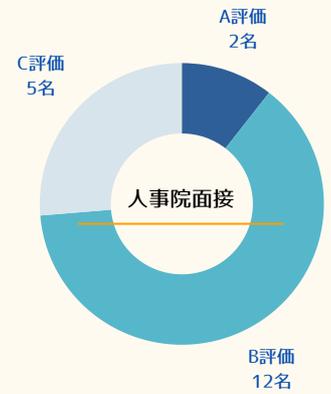
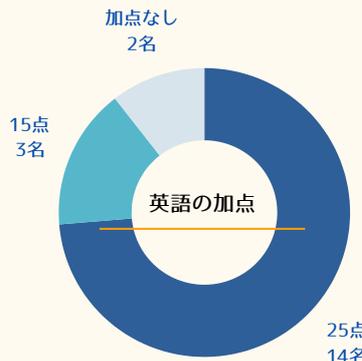
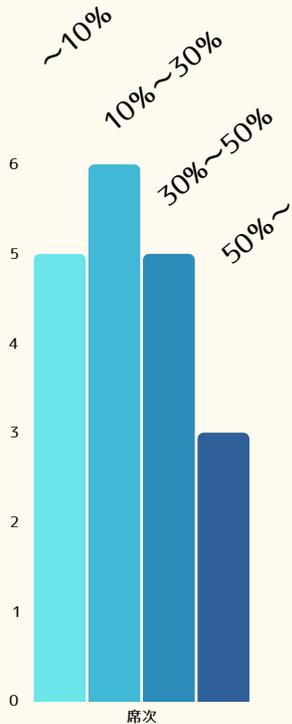
07 内定者プロフィール

事務系内定者：19名
(うち施設系1名)

試験概要



試験結果



01 内定者統計

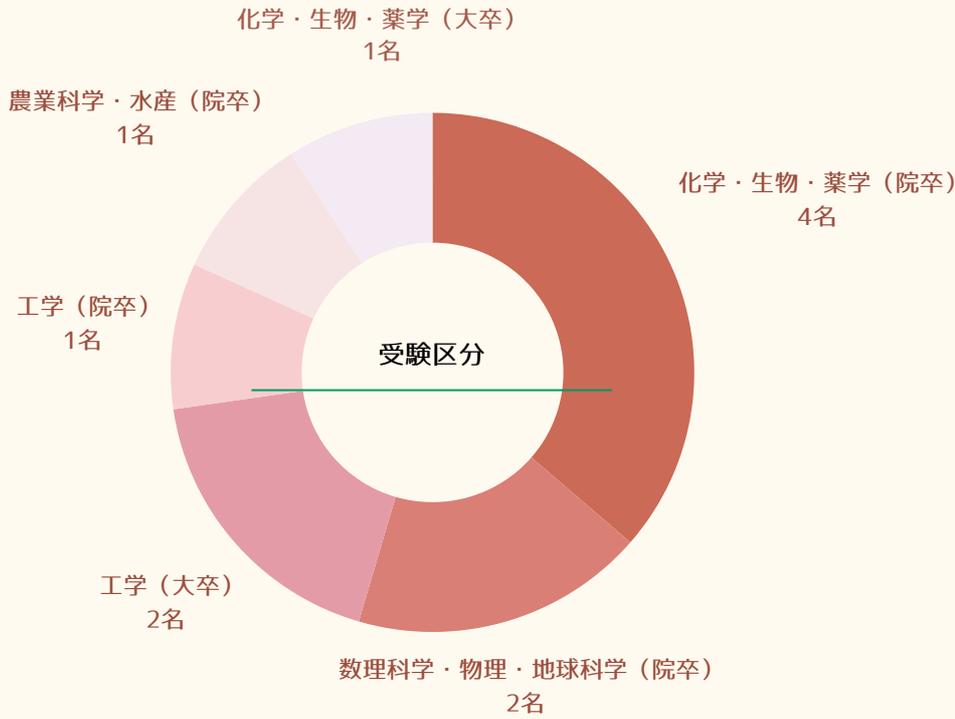


02 総合職試験情報

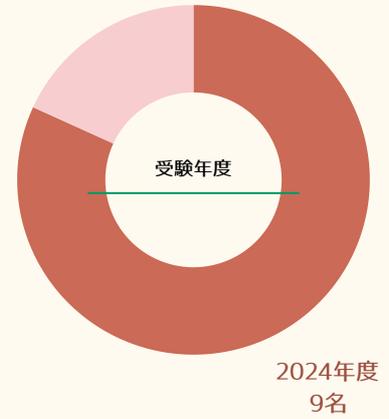


03 官庁訪問体験記

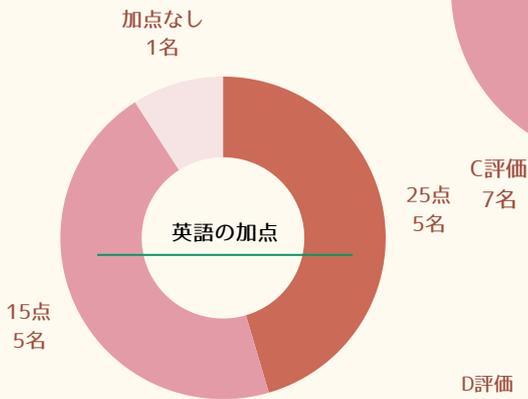
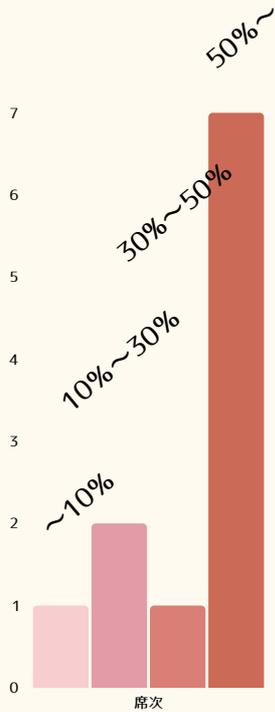
試験概要



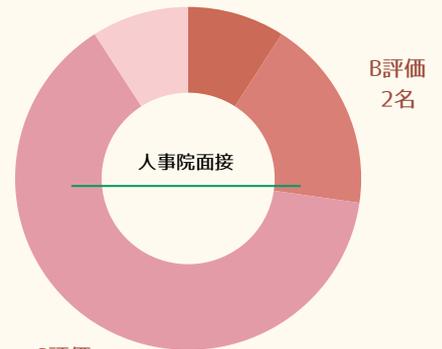
2023年度
2名



試験結果

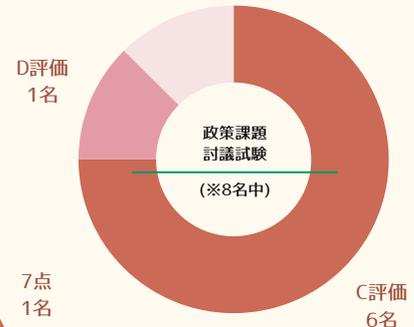


不明
1名



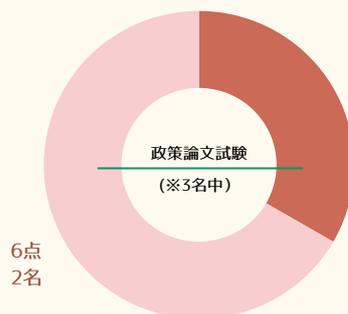
C評価
7名

不明
1名



D評価
1名

C評価
6名

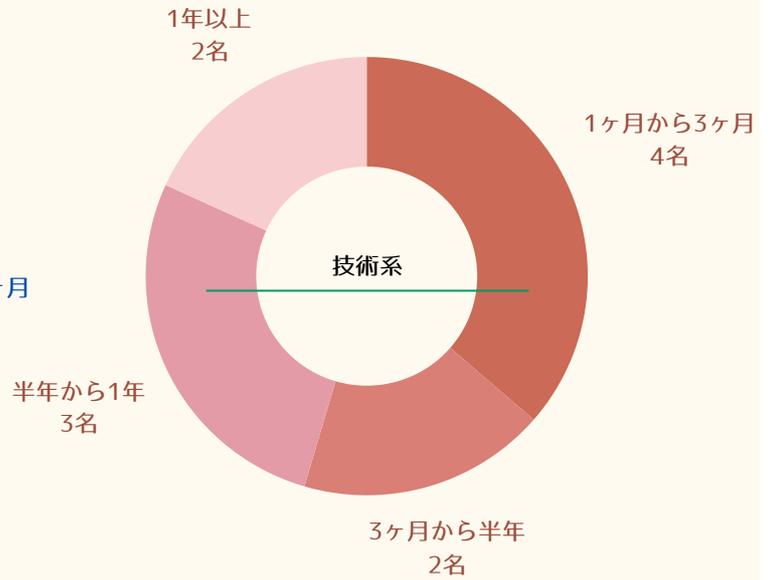
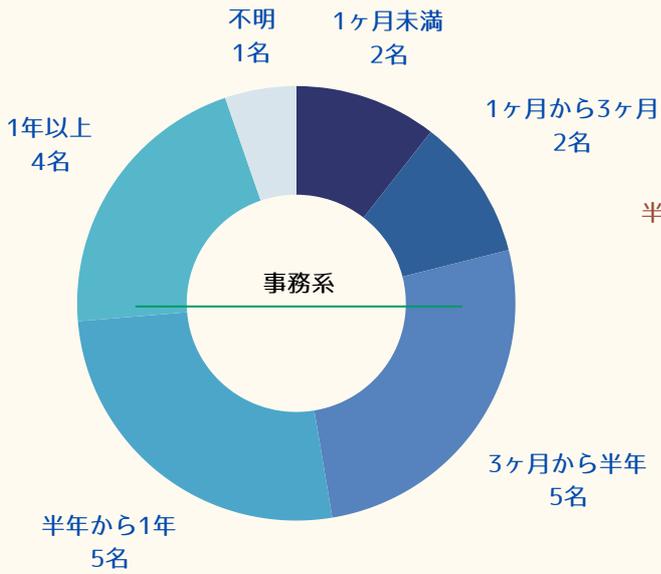


6点
2名

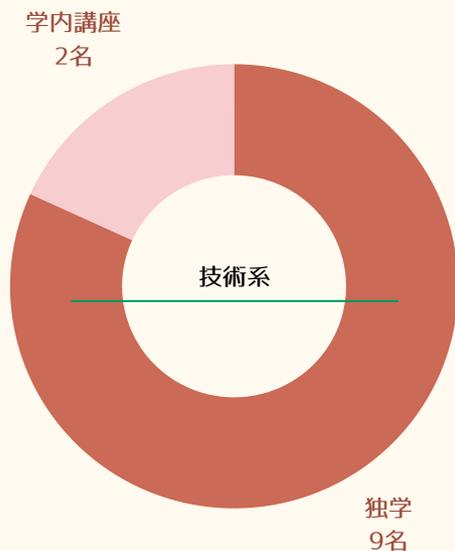
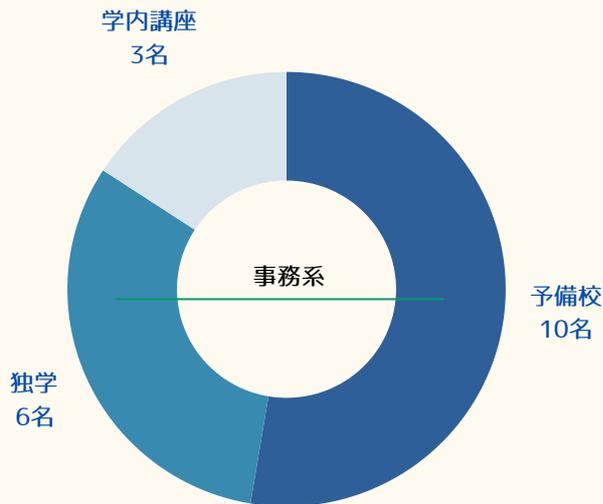


内定者 計30名
(事務系19名 (うち施設系1名) + 技術系11名)

勉強期間



勉強方法



01
内定者統計



02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記

【受験区分の選択理由】

- 大学や院での学びを活かせると思ったから。
- 教養区分：秋試験に受かっておくとその後の府省庁対策に余裕ができると思ったから。
- 法律区分：独学で一番勉強しやすいと思ったため。司法予備試験の参考書がわかりやすく、また教材・過去問の流通量も他よりも格段に多くて手堅く合格できそうだった。
- 工学区分：専攻と近い区分のため。工学は理系科目の中で比較的簡単なため。
- 化学・生物・薬学区分：高校時代は物理・化学選択で大学から生物を始めたので、試験勉強をしながら新しい知識を身に付けられたら一石二鳥だと思ったから。

【大学の講義、研究、サークル活動、アルバイトとの両立】

- サークルやアルバイトは一旦辞めて、勉強に専念しました。大学の講義も3年生の後半や4年生に回せるものは、授業を取りませんでした。
- 特になし(学祭と試験当日が被ったこともあり、サークル等の活動にはほとんど関わりませんでした。バイトや学業も、勉強の邪魔になるほどではありませんでした。)
- 日頃の研究活動では、実験原理を理解することを心掛け、また、その時ホットな話題の分野の論文等を読んでいました。これらが自ずと試験勉強になっていたと感じます。
- 手帳によるタイムマネジメントで何が優先事項か週ごとに管理してスケジュールリングし、ルーティン化したのが両立に繋がった。

【使用した参考書】

- 過去問（過去問500や新スーパー過去問ゼミ、人事院に請求した過去問など）
- 予備校や学内講座のテキストや問題集（『TACシリーズ』など）
- 市販の教科書や問題集（『畑中敦子の数的推理・判断推理』や『集中講義！〇〇の過去問』シリーズ、時事対策本など）
- 学部の講義ノート
- 大学入試で使った教科書や問題集
- 資格試験の問題集など（法律区分では司法試験、行政書士試験用など）

コラム 教養区分とは？

国家総合職試験の大卒程度試験には、法律、経済、工学、デジタルなど様々な区分がありますが、今回は中でも教養区分について取り上げます。上記の試験は、春に試験が行われていますが、唯一、教養区分は秋に試験が行われています。秋に試験が行われていることから、春の試験に比べて民間就活との両立がしやすいという意見もあり、近年受験者数も合格者数も伸びている受験区分です。

今回の内定者を見ても、大卒程度事務系の14名中10名が教養区分での合格者と大きな割合を占めています。

春の試験では一次試験に多岐選択式の基礎能力試験と専門試験、二次試験に記述式の専門試験と政策論文試験、人物試験が行われています。教養区分の試験では、一次試験に多岐選択式の基礎能力試験と総合論文試験、二次試験に企画提案試験と政策課題討議試験、人物試験が行われています。

特に、二次試験には春の試験にはない、プレゼンテーションやグループ討議などがあります。受験される方は、13ページの内定者の事前準備などを参考にしてみてください！！

01
内定者統計



02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記

筆記試験対策 (基礎能力・専門択一・記述)

試験対策のアラカルト ～基礎能力・専門試験編～

【勉強方法・試験攻略】

- 科目数が多い上に範囲も広いため、全てを対策するのは正直不可能だと思うので、過去問演習を中心に、間違えたところとその周辺の知識を再びインプットするように対策していた。
- 基礎能力試験は時間に対して問題数が多い印象でした。出題される問題の傾向の把握や、時間配分の戦略を立てるために、過去問は数年分見ておくと思います。
- 教養区分：基礎能力Iで他の受験生と差をつけられるように努力しました。英語と文章理解ははじめからある程度理解できていたため、数的処理を重点的に取り組みました。
- 法律区分：行政法に関しては「処分性」と「原告適格」と「行政裁量」に注意。ただ、国家公務員試験は人事院が国家公務員に知っておいて欲しい部分を問題に出すため「訴える国民側」の立場ではなく「訴えられた国側」、つまり「理由の提示」などが出されやすいのではないかと個人的に感じる。
- 数物地区分：まず記述は問題レベルが院試標準以上のものなので、学部の頃の教科書と演習書を復習しましょう。これを先にやっておくと専門択一の対策も楽になります。そして専門択一は作戦が重要です。私はI部とII部で最低10問、III部では数学と物理の基礎的な問題をかき集める事で、安定圏の24/40を取れるようにしました。

【その他アドバイス】

- 本試験の過去問は10年分解いたおかげで、出題傾向や類似問題の把握に役立ちました。実際本番では過去問で見たことある問題が出題されたので、その部分はしっかり解けました！
- 自分の苦手分野を把握し、合格点までの差を考慮した上で、どの分野を伸ばせば合格点に届くか戦略を立てながら学習を進めることが重要だと思います。
- 専門の比重が重いので、基礎能力はそこそこにして専門の勉強に注力した。
- 基礎能力試験の問題が一般職と総合職で違うことを前日に知って焦った（ずっと一般職の過去問を眺めていた）。試験概要は初めによく調べましょう。
- 基礎能力の知識問題などは、大学受験で使わなかった科目を勉強できるよい機会だと捉えて楽しみましょう！

試験当日について

【試験当日のエピソード】

- どうせ出ないだろうと思って復習しなかった分野が出題されて、かなり焦った……
- 1次では教養と専門の順番が例年と逆で問題構成も変更されていたり、2次では試験時間が短くなっていたりで面食らった思い出があります。
- 専門択一で、勉強してきたはずの生物が全然分からず急遽何問か数学を解いた。席次ギリギリだったのでこの機転がなかったら今これを書いていないかも。

【その他アドバイス】

- 総合職試験は試験時間が長いので、アガるお菓子を持って行ったりすると集中力が持続して良いと思います。
- 行きがけの電車で席を譲るなどして徳を積み、運を味方につける。
- 一次試験の日は試験が終わったらフットサルを、専門二次試験の日は試験が終わったら2年ぶりに会う後輩とのご飯を楽しみにしていました。試験後に何か楽しい予定を入れておくともメンタル的にも良いかも！

01
内定者統計



02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記

政策課題討議試験対策

【事前準備】

- レジユメの型を調べたり構成を練る。レジユメを20分で書き上げる練習をした。
- 試験対策グループなどの練習機会を利用して、場慣れすることが大事だと思う。特に自分は発言するのがむずかしく感じていたので、相手の意見に補足する形で発言するようにした。
- ニュースや新聞を日々チェックして時事対策を行い、全体的な最近の動向や政策の方向性を知っておく。
- 模擬討議をたくさん行った。民間就活でのグループディスカッションや各府省庁のワークショップ、就活支援団体のイベントなどで経験を積んだ。
- 学内で開催された政策討議試験対策セミナーに参加しておいたのが大きかったです。また、発言する事が思いつかなかった場合に備えて、どんな議題にも通用する問題提起のフォーマットを準備しておいたのも当日助かりました。例えば、ある政策を限定的に行ってその効果を見てから本格的に進めるか決めるのはどうでしょうか、といった感じです。
- 実はほぼしていません。前日にレジユメの書き方をネットで調べたくらい……あとは民間のインターンでグループディスカッションを何度か経験したくらいです。

【討議のポイント】

- 話もレジユメも結論ファーストで、端的に理由をまとめること。
- 当日は、全員緊張して沈黙の時間を作るのが一番よくないので、そうなりそうなら場を回す役だったり、それをサポートする役回りを率先して行う気構えで臨むと良いと思います。
- 議論の途中で、全体の方向性を整理する時間を取った。話の流れを追いつつ、自分の考えを明確にすることを意識した。
- 議論の流れを見ながら、指摘・議論されていない側面を挙げるなど、テーマを多角的に捉えられるというアピールができると良いと感じた。
- 民間就活と比べて周りの受験者がディスカッション慣れしていないことも多いので、ファシリテーションはよりむずかしいと感じました。

企画提案試験対策

【事前準備】

- 配布された白書や、関連する書籍・資料を読み込みました。テーマに対して予想される出題例をいくつか考え、それぞれについてプレゼンテーションシートを作成・暗記しました。教養区分を受験する知人と何度も模擬試験を行いました。
- 試験官との質疑応答においても、突飛な回答で臨むと意表をつく試験官からの問いに答えることがむずかしくなってしまうので、王道の回答を用意してあらゆる視点から吟味しておくことが重要だと考えます。
- 重要な論点を把握した上で、自分の考える政策を他者に話してみると良いと思います。意外な視点から気づきを得ることができます。

【レジユメの書き方やプレゼンのコツ】

- 施策の対象や実行主体は誰か、などのポイントを押さえて書く。
- 資料として出てくる白書や資料をよく読んで、「まともな」答えを出すように心がけた。奇をてらってもしょうがないと思った。
- 面接官からの質問にどれだけ真摯に論拠を持って答えられるかが重要だと思う。



政策論文・総合論文試験対策

【対策の仕方】

- ・ ニュースや新聞を見聞きして、問題・現行の解決の方向性・自分ならどうするかなどをまとめるようにしていた。
- ・ 春試験の政策論文は基本的に両面を埋めればある程度の点数がもらえると思うので、政策論文に時間をかけるより専門の勉強をした方が良いと個人的に思います。
- ・ 出題が予想される重要テーマの論点を抑えた上で、どのようなテーマでも体系的な文章を書けるよう練習を積むと良いと思います。
- ・ 普段から友人や先輩とさまざまな事について議論を行い、自分の意見を論理的に説明する練習をしていた。

【その他アドバイス】

- ・ 論文試験は予備校の講師の間で問題の解釈が違うこともあり、予備校が必須では無かったように思います。とにかく過去問を解いて、他の人と見せ合う形が効果的でした。
- ・ 重要な点は、あくまでも資料が提示している論点に従って論を展開すること。資料から離れた論点を提示して個性を出すよりは、資料の論点のなかでより具体的な政策を述べることで個性を見せる方が高得点になりやすいと感じた。

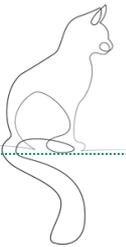
人事院面接対策

【面接カード】

- ・ 予備校の先生や友達に添削してもらっていた。文字数が短いので、端的に伝わる文章を心がけたのと、その一言一言に突っ込まれた時に回答できるように準備していた。
- ・ 国家公務員としても求められるようなスキル（企画力、協働力など）の獲得に繋がった経験について書いた。
- ・ 面接官が突っ込んでくれそうなポイントを用意する。
- ・ 複製が必要なので、2日前くらいに完成させておいたほうが安全。

【面接練習】

- ・ 質問のほとんどは面接カードの内容に沿って行われるので、書いた内容を覚えておき、口頭で説明できるようにしておく。
- ・ あまり話しすぎないこと。相手に聞かれていないことまで全て話そうとする必要はないと思う。もし聞きたいことがあれば追加で質問してくれるので、簡潔に話すことを意識した。
- ・ 志望する官庁の具体的な政策について立ち入った話はなかったが、「国で働く意味」のような漠然とした公務員観は尋ねられたので、「官」についての抽象的な議論はできるようにしておいた方が良いのかもしれない。
- ・ 面接カードの内容や過去の試験情報をもとに、ある程度の想定問答集を作っていた。本番は5割くらいが新規の質問だったが、残りの5割をしっかりと答えられたことが面接の評価につながったと思う。
- ・ 民間企業の面接は必ず受けておくべきです。志望動機以外の深掘りは大体同じ事を聞いてきます。ただ答え方を公務員向けにアレンジする必要があります。
- ・ 必ず一回は面接官を笑わせることを意識していました。



01
内定者統計



02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記

人事院面接対策当日のエピソード

【当日の流れ・受け答え・思い出】

- ・ 待合室にて名前を呼ばれたら面接室の前で待ち、前の受験者の面接終了後に面接室に入りました。3人の面接官それぞれから面接カードに沿って質問されました。質問内容は、概ね面接カードに基づいた内容であり、予想外の質問は無かったように思います。
- ・ 練習した回答をスラスラと喋っていたためか、想定しにくい質問を多く頂いた気がします。実際のエピソードに基づいてその場で考えて回答をしましたが、かなりたどたどしくなっていました。
- ・ 大学で学んでいることが万葉集と珍しい分野であったため、面接時間の半分ぐらいが万葉集に関する質問だった……。
- ・ 面接時、前の人から2分後に入室しなければならないのだが、待っている廊下に時計がなく、そして自身も時計を持ってきていなかったため心の中で2分間数えて入室した。その時点でとても焦っていた。人事院面接はとても和やかな雰囲気と聞いていたのだが、圧迫面接からの激詰めで必死に回答。帰りの電車でちよびと涙がでたが評価はよかったので、面接官の雰囲気が怖かったからといって心配しなくても良いという印象。
- ・ あまりリアクションをとってくださらない試験官や、答えにくい質問をされる試験官もいらっしゃいますが、落ち着いて自信を持って会話することが重要だと思います。
- ・ 試験当日、行き電車で面接カードの誤字脱字を発見し、血の気が引いて絶望したのは今でも忘れません。さいたま新都心駅に着いた瞬間、コンビニへダッシュして面接カードを印刷し、爆速で書き直して提出。何とか打開したのはある意味良い思い出です(?) 受験生は余裕を持って、落ち着いて面接カードを書きましょうね!



総合職試験にまつわるアドバイス

- ・ 英語の加算はできるだけ使しましょう!
- ・ 私は同じ大学に総合職試験を受ける人が少なく不安でしたが、府省庁の説明会やワークショップで知り合った人に声をかけまくり、一緒に対策してくれる人を増やしました。特に試験直前は、不安や悩みを共有できる友人の存在は大きいと思います。周りに総合職志望の知り合いがいない方は、ぜひ説明会等に足を運び、仲間を増やすことをお勧めします!
- ・ 試験自体が早まったとはいえ民間に比べれば選考プロセスが遅いので、長期戦である事は変わりません。民間からの内々定や院進などなんでもいいですが、総合職以外の道を持っておく事がこの長期戦を走り切る上で大事なかなと思います。
- ・ 席次が下位10位以内であっても、選択試験が足切りギリギリの点数であっても、合格してしまえば関係ありません。
- ・ 結局は気合いと覚悟だと思います。「絶対に絶対に受かってやる」と闘志を燃やし、1年後に文部科学省で働いている姿を想像しながら、血の涙を流して猛烈に勉強しました。全力で努力し、多くを犠牲にしたからこそ得られるものがあります。気合いと覚悟を持ち合わせた志高き受験生のみなさん、文部科学省でお待ちしています……!

01
内定者統計



02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記

01 内定者統計

|

02 総合職試験情報

|

03

官庁訪問体験記



|

04 就職活動体験記

|

05 文部科学省に決めた理由

|

06 インタビュー

|

07 内定者プロフィール

官庁訪問の概要

※ 施設系・技術系では、既合格者向けの官庁訪問が別途設けられています
詳しくはp.46へ！

- ・ 国家総合職試験の最終合格後、志望府省庁等に採用されるための重要なステップ
→ 試験最終合格＝内定ではない
- ・ 2024年度は6月中旬から下旬の約2週間で行われた
- ・ 複数府省庁（基本上限3府省庁）に訪問可能
- ・ 職員と受験者の1対1の面接が基本
- ・ オンラインも人事院のルールに則り対応（2024年度）

※官庁訪問の最新情報については必ず人事院ホームページをご確認ください
※すべて2024年度の文部科学省官庁訪問の情報であり、毎年変わり得ます

【クール制】※全府省庁共通

第1クール・第2クール

- ・ 第1志望から第3志望までの府省庁を1日ずつ訪問可能。
- ・ 必ずしも3日間全て回らないといけないものではなく、訪問する府省庁は1つや2つでもOK。
- ・ 第1クール・第2クールでは訪問する順番を変えることはできず、また、同一クール内で複数回同一府省庁に訪問することもできません。

1日目	2日目	3日目
府省庁A	府省庁B	府省庁C

x2クール

第3クール

- ・ 第2クールが終わると訪問する順番がリセットされ、第1・第2クールで2日目以降に回った府省庁を第3クールで1日目に回することも可能です。

1日目	2日目
府省庁A	府省庁B

第4クール

- ・ 第3クールで訪問した府省庁に訪問するのが基本です。
- ・ 第4クールは1日のみです。
- ・ 第4クールを通過すれば内々定を獲得し、官庁訪問は終了となります。

1日目
府省庁A

【面接の種類】

※全て2024年度の文部科学省官庁訪問の情報

入口面接

- ・ 5分～10分くらいの短い時間で職員さんと1日の流れを確認する面接。ある時もない時もある。

集団面接

- ・ 学生複数人（5人程度）×面接官複数人（3人程度）で行う。
- ・ 文部科学省の第1クール最初の面接は、事務系においては集団面接であることが多い。

原課面接

- ・ 職員の方に業務についてのお話を伺うことが多い。

人事面接

- ・ 人事担当の方に来訪者メモに沿って質問を受ける。民間の就職活動の面接に近いイメージ。
- ・ 原課面接のように、業務についてのお話を伺うこともある。

グループディスカッション

- ・ 学生4人程度が1グループになる。テーマを与えられ、制限時間内で議論して発表する。（訪問日によってはグループディスカッションがないこともあった。）

出口面接

- ・ 1日の面接の評価が告げられる面接。志望度や他府省庁での選考状況を聞かれることもある。

02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問のとある1日



【1日のスケジュール】

気になる官庁訪問について、事務系内定者2名が実際に経験した官庁訪問期間中のとある1日を再現してみました。面接の種類については前のページをご覧ください！

※下のスケジュールは一例であり、面接の時間や回数は人によって異なります。

	事務系①	事務系②
集合	9:00	9:00
昼食休憩	① 集団面接(45分) 60分	① 原課面接(40分) ② 人事面接(25分) 60分
夕食休憩	② 原課面接(40分) ③ 原課面接(60分) ④ 人事面接(15分) ⑤ 人事面接(20分) 60分	③ 原課面接(60分) ④ 人事面接(15分) ⑤ 人事面接(20分) 60分
退庁	⑥ 出口面接(25分) 19:00 帰宅	⑥ 出口面接(25分) 20:00 帰宅

グループディスカッションの1日 事務系 ver.

9:00 集合・入口面接

- ◇ 部屋移動・くじ引きをしてグループに分かれる
- ◇ グループディスカッションの課題発表とその説明(20~30分程度)
- ◇ グループディスカッション(60分程度)
- ◇ 各班発表(3分 x 3、質疑応答含め15~20分程度)

昼休憩

午前中に詰まっていた…！
説明を聞く段階で内容を整理しながら
論点を考えるのが大変！

02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問のとある1日

【1日のスケジュール】

気になる官庁訪問について、**技術系**内定者2名が実際に経験した官庁訪問期間中のとある1日を再現してみました。面接の種類については2つ前のページをご覧ください！

※下のスケジュールは一例であり、面接の時間や回数は人によって異なります。

	技術系 (通常期)	技術系 (既合格者)
集合	8:50	9:00
昼食休憩	60分	60分
退庁	19:00	18:00
	帰宅	帰宅

① 原課面接(20分)	① 原課面接(30分)
② 原課面接(30分)	② 原課面接(25分)
③ 原課面接(50分)	③ 原課面接(25分)
④ 人事面接(20分)	④ 原課面接(30分)
⑤ 原課面接(30分)	⑤ 原課面接(35分)
⑥ 出口面接(5分)	⑥ 原課面接(30分)
	⑦ 出口面接(30分)

グループディスカッションの1日 技術系 ver.

- 09:20 集合
原課面接① (3人一組のグループ面接)
原課面接② (3人一組のグループ面接)
- 11:45 グループディスカッションの班で自己紹介&チーム名決め
--- 昼休憩 ---
- 12:50 課題の説明 (20分)
グループディスカッション (90分)
討論会 (計3回、発表5分、質疑応答15分)
- 16:00~ 出口面接 (名簿順に呼ばれてそのまま解散、1人10分程度)

02
総合試験情報



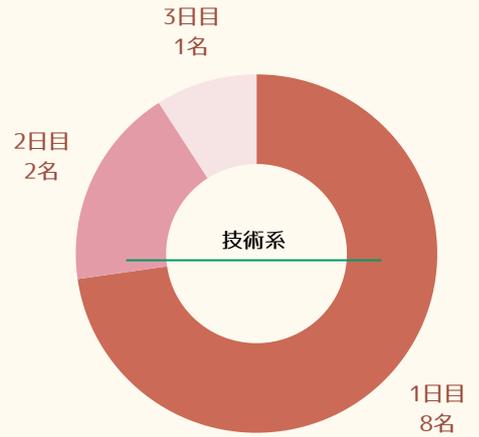
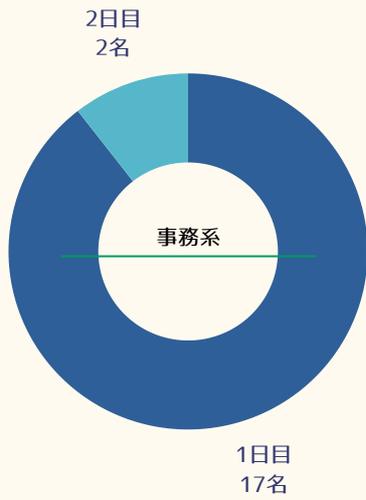
03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問統計

文部科学省訪問日 (第1クール)



事務系 (延べ数)

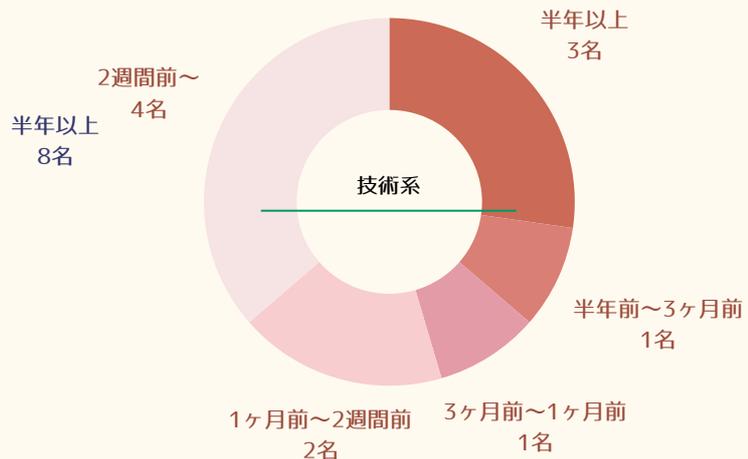
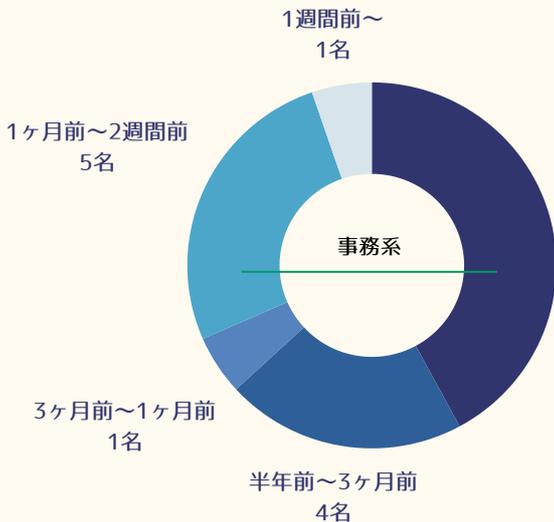
厚生労働省(5)	農林水産省(3)	人事院(2)	公正取引委員会	特許庁
こども家庭庁(4)	経済産業省(2)	会計検査院	財務省	防衛省
内閣府(3)	国土交通省(2)	警察庁	総務省	併願なし

技術系 (延べ数)

海上保安庁(2)	厚生労働省(2)	原子力規制庁	財務省税関
環境省(2)	特許庁(2)	こども家庭庁	併願なし
経済産業省(2)	農林水産省(2)	財務省	

併願先府省庁

官庁訪問の対策開始時期



02 総合職試験情報



03 官庁訪問体験記



04 就職活動体験記

官庁訪問体験談

官庁訪問の準備から当日まで、内定者から寄せられた色々な体験談を時系列順に紹介します！

1. 来訪者メモについて

「来訪者メモ」とは官庁訪問へのエントリーの際に提出するエントリーシートのようなものです。官庁訪問におけるあらゆる面接で常に面接官に参照されることとなります。資格等の情報や志望動機だけでなく、政策提言の欄があることが大きな特徴といえます。全員共通の事前準備として用意するのはこの「来訪者メモ」だけであり、またかなりたくさん書くことができるので、官庁訪問準備のうちの大きなウェイトを占めます。メモの項目ごとに、執筆時の体験談をご紹介します！

①志望動機

(事務系・技術系共通)

流れを意識

日本社会の理想像→日本社会の現状・課題→理想を実現するための手段(教育関連)の流れで書きました。／自分の経験談から思う日本の課題→文科省でしかできない解決策の流れを意識しました。／自分の原体験と志望動機とのつながりがストーリーとして伝わることを意識しました。

分かりやすく

志望動機は主語が自分と国(または文部科学省)の2つの軸で書く必要があるので、文章の構成や読みやすさには特に気を使いました。／客観的な事実を入れ込みながら書くように意識した。／地方公務員や現場ではなく国家公務員、特に文科省でなければいけない理由を意識して書いた。

面接にむけて

突っ込んでもらいやすいように、エピソードを簡潔に記した。／来訪者メモは面接での質問のきっかけとなるものなので、どの面接官の方でも話題が生まれるように文科省が所掌している幅広い分野のうち多くの要素を並べて書いた。

素直に！

志望動機を語る上で、聞こえの良い言葉だけで終わると勿体無いので、飾らずに自分だからこそ言えることを意識した。／具体性よりも熱意が伝わる文章になることを優先した。／自身の性格、これまでに学んできたことを活かせる所はどこなのかを考え、その結果を志望動機に書くようにしました。

②政策提言

(事務系・技術系共通)

志望動機と関連させて

課題を明確にし、その課題ときちんと対応する政策を考えた。政策は具体的に書くようにした。志望動機と政策提言に一貫性をもたせた。／志望動機に書いた理想の国家を実現するうえでの社会課題を念頭に置いて、それを文部科学省の立場からどう解決するか、という発想で考えた。

根拠を示して

分析にあたっては根拠を示して意見を述べ、また政策の具体的内容に関しては論点やデメリットも提示した。／主観的な考えになりすぎないように、公共のデータなども盛り込んでまとめた。／地に足の着いた議論が出来るように、自身の経験に基づいた内容を記載しました。

なぜ？を突き詰める

文部科学省がやる理由、政策で巻き込む分野へどんなメリットがあるか、どういった効果が期待出来るのかは明示的に記入しました。／「なぜ国(文部科学省)がやるべきなのか」という部分をシビアに考えている方が多いという点を説明会やインターンシップで感じていたので、その部分が伝わるよう意識して書いた。／なぜ他の課題ではなくその課題に着目したか、なぜ他の手段ではなくその手段を選んだのか、自分の言葉で説明できるものを選びました。

面接を意識

問題の導入(なぜそれが起こるのか、なぜそれが問題なのか)を書いた後に、自分なりの解決策を書いた。しっかりと策を書くにはスペースが足りないと思うので、短くまとめておいて面接で聞かれた際に回答できるようにした。

02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問体験談

②政策提言（つづき）

（事務系）

既存の政策の扱い方

提案が具体的になるよう実際に行われているものを参考にして取り組みは複数挙げるようにした。／既に実施されている政策と重なる部分もありましたが、その中でも足りない部分へのアプローチのアイデアを記載しました。／既存の政策については、調べはしたが、縛られすぎる必要はないと考え、自由な発想で政策の概要を作った。

（技術系）

研究活動・既存の政策の扱い方

研究室活動での経験がアイデアのもとでしたが、あくまで主語は文部科学省がやるべき政策である事を意識しました。自身が近いアカデミックだけでなく、産業界や国民生活にも良い波及効果をもたらす事を強調しました。／自分が考えた政策提言が、過去に行われていたかどうか、似たような政策はあったかどうかチェックしました。実際、面接で「過去にこのような政策ってあったのでしょうか？」と聞かれました。

③全体を通じて

（事務系・技術系共通）

相談・添削・面接を通じてフラッシュアップ

手当たり次第周りの人に見てもらい深掘りしたい質問を考えてもらった。／友人やキャリアセンター、予備校、新卒応援ハローワークで添削をしてもらいました。／来訪者メモの内容は多少荒削りでも、官庁訪問中に改善した事を伝えれば大丈夫です。しかし面接官が最初に見るものですから、読みやすい文章を作成する事を心がけましょう。

ユーモアも大事（?）

志望動機・政策提言・学修についてはどうしてもお堅い内容になってしまうので、社会的活動と自己PRの部分で雑談につながるような楽しい内容を書くように意識した。



コラム
官庁訪問対策として読んだ本

書籍

- ・『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』（大賀英徳著）
- ・『職業としての官僚』（嶋田博子著）
- ・『官僚たちの夏』（城山三郎著）
- ・『公教育で社会をつくる』（リヒテルズ直子・苫野一徳著）
- ・『学校プラットフォーム』（山野則子著）
- ・『なぜ理系に女性が少ないのか』（横山広美著）
- ・『政策立案の技法』（ユージン・バーダック著）

↑難しくて分からなかった

書籍以外

文部科学白書／文部科学省の予算資料（HPより）／『内定者の声』／

新聞記事やニュース



02
総合試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問体験談

2. 面接の様子

官庁訪問での面接について、準備から当日のようすまでを振り返ります！

①面接の準備

(事務系)

- ・ 質問対策。自分で書いた文章に対して50個くらい深掘りする質問を想定していた。
- ・ 説明会や職員訪問での質疑応答は当日中に文字起こし、振り返りができる状態にした。興味のある分野については、HPの資料、説明会の資料、ニュースに目を通し、自分の考えを整理した。

(技術系)

- ・ 学生では馴染みが薄い科学技術政策という視点は、職員訪問で志望動機や政策提言についてアドバイスを貰う事で補いました。

②面接本番で聞かれたこと・印象的だったこと

(事務系)

- ・ 「なぜ国家総合なのか、文科省なのか」は何度も聞かれた。印象的だったのは政策に関する面接が多い中で、ガクチカをかなり深掘りされたこと。
- ・ 飾らずに自己紹介してくださいというもの。どうしても綺麗な回答を意識してしまいがちなため、回答に窮した。
- ・ 「友達からどのような人だと言われることが多いか」という質問が予想外で印象に残っている。
- ・ 挫折体験と挫折しそうになったが諦めなかった経験の二つを対比して聞かれたことが印象的な場面として記憶に残っています。個人的には感情移入しやすい質問に感じたのでアツク回答しました。
- ・ キャリア教育や国際理解教育など子供達に身につけさせるべき資質が増えてきた現代において逆にどのような教科を減らすべきだと考えるか。
- ・ 知識量を問うているわけではなく、回答の論理性や回答を絞り出そうとする姿勢を評価されているように思った。
- ・ 原課面接のシーンでは、話の中で出てきた政策・社会課題に関してその場で自分の意見を述べることを求められることが多かったと感じる。政策の大枠・理念だけでなく、その政策を実行するための具体的制度や現場への共有方法、その際の問題点からその問題点の解決方法まで、政策の「実行性」を深掘りされたことが印象的。
- ・ 職員の方と、文部科学省の弱点・短所の議論になりました。その際、職員の方自身や自身の省庁を批判的に省みる姿勢が印象に残っています。

(技術系)

- ・ 第1クール3回目の面接で、午前2回の面接を通じてどのように成長したかを教えてくださいと言われ、そんな早くから聞かれると思ってなくて驚いた。
- ・ 志望動機や政策提言に書いた目標を達成するために、他にはどんな方法があると思う？と聞かれたこと。政策を考える上では多角的な視点が必要！
- ・ 自分が挙げた問題と理想像について職員の方と議論することができ、新鮮でとても楽しかったです。
- ・ 政策提言に関する質問で、その場で具体的な施策を提案するよう言われたこと。それに関するより深い質問まで行われたこと。具体的には政策提言を実現するための財源はどこから確保するのか等。
- ・ 「1分の自己PRをして、私があなただを採用したいと思わせてみてください。」と質問され、「これは去年の内定者の声で見たやつだ……!」と感動(?)

③面接で意識したこと・工夫したこと

(事務系・技術系共通)

面接を通じて成長する

自分になかった考えなどを面接を通して学べるので、その都度自分の回答をアップデートさせるなど成長を意識して面接に臨んでいました。／志望理由や研究内容などは何回も聞かれるので、回を重ねることによりわかりやすい説明ができるよう意識した。／わからないことでもくらいつき、吸収していく。そして素直に自分の悪い点を反省し次の面接で改善させ成長性を見せた。

02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問体験談

③面接で意識したこと・工夫したこと

(事務系・技術系共通)

面接は対話!

一問一答のようなやりとりではなく、話の流れを大切にしながら聞きたいことを聞き、伝えたいことを伝えること。／率直に考えていることを伝え、目の前の方との議論や会話を楽しむことを意識していました。／飾らず真摯に答える。／面接した職員の方を笑わせる。／とにかく自分らしさを大切に。

議論に備えて

自身の価値観の軸や芯を決めておくと、想定外の質問や議論でもその軸や芯に基づいた考えを述べることにより、説得力のある意見が言えると思います。／批判的に話を聞くこと。鵜呑みにするよりも話も広がりやすいと思う。

④評価されたと思うこと

(事務系・技術系共通)

熱意・思いの強さ

教育・科学技術・文化・スポーツに対する幅広い関心があること、好奇心が旺盛なことが示せたからだと思う。／職員の方に内々定の理由をお聞きした際には「若い力、エネルギーを感じた」という言葉をいただきました。官庁訪問全体を通して面接を振り返ってみると、総じて意識していたことは気持ちを込めて話すということでした。／職業選択で重視する事項で「カッコいいこと」と書いたら、人事の方がとても気に入ってくれました。やっぱり情熱を見せるのは大事みたいです。

成長力

食らいつく姿勢。職員訪問のたびに丁寧に振り返って、次の職員訪問で成長を見せられるようにしていた。／「失敗したな……」と思う面接もあったが、落ち込みすぎず、次に活かそうという前向きな気持ちを保てたことは良かったと感じる。／官庁訪問を通じて学んだ事、成長できた事をアピールし続けたこと。

耐久力(?)

正直わかりませんが、メンタルが強そうに思われたから?／霞ヶ関の働き方に耐え得る人間と評価いただいたのではないかな。／スポーツの経験は他の方に比べて深いものがあるので、「とりあえず体力があって良く動き回ってくれそう」枠を狙った。

その他

原体験に裏打ちされた問題意識を持っていたからだと思う。なぜ教育なのか、なぜ文科省なのか、なぜその分野をやりたいのかななどの問いについて、エピソードと共に回答を用意していたところが評価されていたのかもしれない。／職員の方と議論をするつもりで面接に臨んでいた姿勢が評価されたと思います。／他の志望者と交流して得意分野や志望動機を伺う中で、自分ならではの強みを見つけ、それをアピールするための対策をすることが出来たからではないかと思っています。

⑤面接に関するアドバイス

自分は何を問題に感じるのか・どうなれば理想なのかを整理することが、面接する上で必須だと思います。／面接官と何を話したかを整理できるように、必ずメモした方が良いです。気後れせず、聞きたいことや、疑問に思ったことはその場で面接官に聞きましょう。／かなり長丁場ですが待合室で話せたり、土日もあるのでオンとオフを切り替えて最後まで持続して頑張ってください。／緊張を長引かせないよう、職員さんとの会話を楽しむという気持ちで臨むのが良いと思いました。／暑かったので上着なし、ノーネクタイ、長袖シャツは腕まくりして行きましたが職員の方は全く気にしてなかったので、自分が楽な格好でいきましょう。／自分が本当に強く思っていることをそのまま伝え、そのまま評価していただく場であると感じました。無理に繕うことなく、自分の本当の意志が伝わるように努めるのが最善だと思います。／とても学ぶことが多いので、勉強するぞーくらいのモチベで気を楽しんだ方がよいのではないのでしょうか?／当然緊張するとは思いますが楽しむ気持ちで臨むのが吉です。



02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問体験談

3. グループディスカッションについて

官庁訪問当日には、面接の他にグループディスカッションが行われました。形式やその時の心境について振り返ります。

①形式・雰囲気など

(事務系)

パターンA

15人が3グループに分かれる形だったと思います。最初にテーマに関する概要説明があり、あとは自由に議論、最後に講評が行われる形でした。全体的にリラックスした空気が進みました。

パターンB

12人の受験者がくじ引きによって3チームに分かれました。約30分間政策に関する説明があった後、1時間議論を行い、発表しました。議論時は職員の方が1-2名ついていて、メモをとっていました。議論が終わると発表タイムに入りました。発表は各グループ3分間で、挙手した順に発表を行いました。各グループの発表後、質問が募られ、受験者同士で質疑応答が行われました。

(技術系)

既合格者

6人の受験者が2グループに分けられ、グループ名を付けた後、お昼ご飯をグループのメンバーと食べました。お昼休憩後に、職員の方から課題の説明を受け、2-3時間議論・発表準備をし、その後各班30分ずつ程度発表（質疑応答込み）しました。議論時は職員の方が各班に1人ついており（議論の様子を評価しているよう?）、適当な時間でローテーションしていました。常に評価されているようでしたが、議論中はお菓子や飲み物を口にすることができ、終始和やかな雰囲気でした。

通常期

15人の受験者がA,B,Cの3グループに分かれ、各グループが別々のテーマを与えられ、90分くらい議論し、7分くらいで発表を行った。また、AのグループはBの発表、BはCの発表、CはAの発表を聞いて、聞いたグループがその発表に対して質問する時間が約10分設けられた。複数の職員の方もその発表を聞いていて、受験者側からの質問が出尽くした後、職員の方から質問を受ける。

②意識していたこと

(事務系・技術系共通)

議論の流れや論点の整理

複数人の意見をまとめたり、論点を整理したりなど、ディスカッションの全体の流れを意識するようにした。／不自然な沈黙がないように、他の受験者の発言を促したり、議論が脱線しないように、定期的に議論をまとめ、議題を提供するように努めていました。／眼前のテーマと、過去の説明会等で獲得した情報との共通点を探り、少しでも有用なアプローチを提案できるよう努めた。／収束を目指しすぎず、主に発散し、発散が蓄積して議論が成熟し、自然と収束する流れがよかった気がする。同じ班にホワイトボードで書記してくれた人がおり、イメージの共有がスムーズに行われて助かった。付箋を用いてメンバーの頭の中を可視化できたのもよかった。

メンバーの意見をよく聞く

自分から巻き込む、積極的に発言、人の意見に耳を傾ける。／他者の話をしっかり聞きながら、発言もすること。／積極的に発言をするだけでなく、他の人が発言したらしっかりとリアクションをすることを意識していました。／なにより他の方の意見をよく聞いて自分の知見を広めることも意識していた。

その他

積極性（発表の際に一番に手を挙げる、司会に立候補する）を見せること、話せていないメンバーの意見を聞くこと、「立案した政策を文科省がやる意味はあるのか」を意識すること、議論の道筋を示し、脱線していないか気にかけること。／自然体で臨み、建設的な議論をすることです。／個人の評価は気にせず、グループとしていい発表をすることだけ目指した。

02
総合職試験情報



03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記

官庁訪問体験談

4. 控室での過ごし方

官庁訪問では長い面接の待ち時間を控室で他の就活生とともに過ごすことになります。自分に向き合う時間も必要ですし、心穏やかに過ごすための工夫も必要になるでしょう。ということで、控室での過ごし方やエピソードをご紹介します。

(事務系)

- 同じ志望者と雑談。お菓子を持っていったので、ひたすらそれを食べていた。
- 前の面接の振り返り、政策の勉強をしていました。2日目訪問で準備不足だったので、原課面接で何について質問をするか等は全て控え室で考えていました。
- 自分は大層人見知りなので「官庁訪問の控え室で話して絆が生まれる」的な話を耳にするたびに「縁のない話だ.....」と思っていたのだが、思いのほか話せた。待ち時間が長いので、人と会話すると口と舌が解れてよかった。
- 官庁訪問1日目、控室で同卓の志望者（後の内定者）が懸賞クロスワードで暇を潰しており、その手があったかと感嘆した。

(技術系)

- 面接から戻ってきた最初は、忘れないうちに面接で聞かれてももっとうまく答えられた質問や学んだことをメモしていました。それが終わったら周りの人と積極的にコミュニケーションをとっていました。
- 他の方と話していました。お昼は外に出ました。
- 技術系控室の窓際に置いてあった宇宙兄弟を読んでいた。

コラム 持っていったよかったもの



～面接準備～

- 来訪者メモのコピー
- 説明会の感想や気づき等をまとめたファイル（それまでの蓄積が手元にあると安心した）
- 想定問答集（自信につながった）
- 自己分析の結果を書いた自分専用の面接対策ノート
- メモ帳

～暑さ対策～

- 半袖シャツ（半袖でも問題ありませんでした）
- 汗拭き用タオル
- 扇子・手持ち扇風機（朝からかなり暑く、外で待つこともあったため）

～体調管理・栄養補給～

- 羊かんなど素早くエネルギーに変わるもの（夕方からは脳が疲れてくるので）
- 糖分補給用のお菓子（ラムネなど）
- ペットボトル飲料（多め）

～メンタル維持～

- 自分のテンションが上がる柄のノート・メモ帳
- 後輩からもらった色紙・お守り

～その他～

- モバイルバッテリー
- パソコン（面接のフィードバックをまとめる用・大学の課題用）
- 本（思ったより暇です）



官庁訪問体験談

5. 成功・失敗談

ここまで出ていない話題を中心に、内定者たちのエピソードを成功談・失敗談に分けてご紹介します！

①成功談

(事務系・技術系共通)

- 面接で学んだことを次の面接の機会に活かせるよう、自分の考えをアップデートすることを意識しながら、職員の方との議論に臨んだ。自身の成長をうまく示せると良いと思う。

(事務系)

- 説明会や公務員試験対策会などで知り合いを作っておいたため、官庁訪問中にも話してリラックスできた。
- 職員訪問をたくさん行ったため、職員の方と話すことに慣れた状態で面接を行えました。
- 他省の官庁訪問で持った問題意識を伝えたところ、それに対する文科省でできることを教えてもらえた。
- 面接の反省の書き出しは極力待合室で済ませて、毎日ホテルに着いたらすぐに寝た。とにかく睡眠時間を優先した。(集合時刻から自分が呼ばれるまでは案外時間があるので、ホテルを出る時点では未解決の課題があっても、ある程度は着いてからなんとかなるかもしれない。)

(技術系)

- グループディスカッションの日の朝にたまたま気になって電車の中で調べていたことが、提案の根拠の一つとして役に立った。「気になる」と「気になったらすぐ調べる」を日頃から大切にしていた良かったと思った。
- 面接カードで書いた内容や自分の意見について、なぜ？を何回も繰り返して考えを深掘りしていたので、面接で質問されたときに怖気づかないで済んだ。

②失敗談

(事務系・技術系共通)

- 前日緊張で寝れず、寝不足の状態で行ってしまった。

(事務系)

- 期間中の土日に焼き鳥を食べた。体調に問題は生じなかったが、食べてから食あたりを気にしていたので、どんな形であれ不安になるようなことはしない方が精神衛生上よかったです。
- 出所が不明の噂をたくさん耳に入れてしまい、無駄に不安に駆られていた。
- 指定された面接の部屋が分からず、迷子になってしまった(担当の職員さんに案内していただきてたどり着けた)。
- 職員の方との面接中はメモを取らずに聞いていたので、職員の方の名前を覚えられなかった。後に「今日はどの職員と話しましたか？」と聞かれ言葉に詰まった。焦りすぎて、どのようにその質問を乗り切ったのかは覚えていない。

(技術系)

- 第1クールは不安で荷物が多くなってしまったことです。面接など移動が大変だったので不安になりすぎず、事前に指示されている最低限のもので良かったと思います。
- 面接回数が多いので、後半になるにつれて逆質問のストックがなくなり大変でした。

コラム 官庁訪問中の休日の過ごし方 その1

各クールの間や土日は休みになります。準備にあてるもよし、リフレッシュにあてるもよし。内定者の官庁訪問中の休日について聞いてみました。

【やっぱり休養】

☺ 基本的に寝ていた。

【えらい】

☺ 県庁の試験を受けに地元へ戻りました。



その2に続く...



官庁訪問体験談

6. 官庁訪問に向けてのアドバイス

情報に振り回されないで！

- 府省庁ごとで選考の方法・基準が大きく違ったりもするので、他人から聞いた情報を全て鵜呑みにするのは危険です！
- インターネット上の噂を見て殺伐としたデスマッチを覚悟して臨みましたが、全然そんなことはありませんでした（技術系）。面接官とも受験者同士でも会話を楽しみに来るくらいがちょうどいいと思います。
- 少なくとも文科省はしっかりと人を見て評価してくれると自分は思うので、自分の経歴などはあまり気にせず挑戦してみるのがいいと思います。そしてなぜ自分がその府省庁で働かなければならないのかなど、自分の考えをしっかりと言語化出来るようにして頑張ってください。

少しでも興味があるなら行動しよう！

- 「気になる府省庁を見つけたらできるだけ早く説明会や交流会などに参加し、情報を集めること」これに尽きると思います。
- 3つの府省庁を訪問できるので、少しでも興味があり、2つの府省庁への訪問しか予定していなければ、3つ目を訪問した方がいいと思います。1日目、2日目で落ちてしまっても、腐らず、全力で3日目に臨むことが大事です。
- インターンシブは本当におすすめです！実際の部署に席をいただいて1～2週間過ごすことができ、職場の普段の雰囲気分かるだけでなく色々な職員の方とお話できて疑似官庁訪問になります。

無理せず身体を大事に！

- 厳しいフィードバックをもらったり、他府省庁での面接がうまくいかなかったりすることがあっても、私は何とかなったので皆さんもきっと大丈夫です。面接官との相性が悪かったんだな～くらいに思っ、美味しいものを食べて毎日よく寝てください！！
- ちゃんとクールビズで大丈夫です！ネクタイ・ジャケットフル装備だと暑いので、適度な体温調節を心がけましょう。

最後まで楽しんで！

- せっかくなので楽しみましょう！緊張するとは思いますが、訪問者は府省庁に選ばれている立場でありながら府省庁を選んでいる立場でもあります。マッチングの場であると割り切ると、多少気が楽になるかもしれません。

コラム 官庁訪問の休日中の過ごし方 その2

【対策・考えの整理】

- ☺ 第1クールを通じて文部科学省の志望度が上がったため、休日は全て文部科学省の政策に関する勉強に費やしました。あまり対策のできていなかった分野の原課面接の準備をしたり、1日目に聞いた話に対して自分の意見を整理したりしました。
- ☺ 科学技術コミュニケーションの推進について提言するのに日本科学未来館には子どもの頃一度行ったきりだったので格好がつかないと思い、他の府省庁を回る代わりに一日お台場まで行った。

【リフレッシュ！】

- ☺ テレビを見る（真面目じゃないやつ）。
- ☺ 友人に会ったり、美術館に行ったりして気を紛らわせた。
- ☺ 民間の内定先や東京で働く友人に会いに行きました。
- ☺ アルバイトをした。接客や配膳に集中して、官庁訪問の緊張を忘れることができたのでよかった。
- ☺ 2クール目2日目は休みにしたので、図書館に行って気分転換をした。
日比谷図書文化館は、書籍の品揃えや陳列が独特で良い。

【走りがち】

- ☺ 皇居ランをしていったん官庁訪問のことを忘れた。
- ☺ 気分転換に荒川を爆走してました。



02
総合職試験情報

03
官庁訪問体験記

04
就職活動体験記

地方在住や朝の電車遅延対策など、官庁訪問中に自宅以外に滞在した人に
宿泊について聞きました！

滞在場所と理由

新橋（JR、メトロ、都営線など多数路線乗り入れ）

…徒歩でも通える距離。

溜池山王（メトロ、徒歩も可）

…どの府省庁にも近いため。

赤坂見附（メトロ、徒歩も可）

…主要駅へのアクセスがよいため。

大手町（メトロ、都営線）

…霞が関へのアクセスが良いから。

板橋駅（JR）

…ホテルの価格と交通の便の両方から。

参宮橋（小田急）

…安かったから。以前に泊まったことがあったから。

金額

交通費を除く滞在費用（食費、宿泊費）

- ~5万円：1名
- 6~10万円：5名
- 11~15万円：1名
- 16~20万円：2名

アドバイス

【宿の質を重視すべし！】

- 精神的・体力的に疲弊する可能性もあるので、リラックスできる宿をとっておくのがよいと思う。
- ハードなので、行きやすさや近さを重視するべきだと思う。
- 楽しみが朝ごはんしかないので、多少高くてもできるだけおいしいところにすることをおすすめします。

【費用対策】

- お金がかかるのでアルバイトして軍資金を溜めておくといいと思います。
- 夜行バスで行けば、ある程度、移動費を抑えることができます。
- 同じ系列のホテルでも、ほんの数駅離れたところで安く泊まることのできる場合もあるので、費用を抑えたい場合はオススメです！

【予約はお早めに！】

- 近場のホテルは、最終合格後だと予約できないという話を見たことがあるので、できるだけ早めに予約した方がいいです。



01 内定者統計

|

02 総合職試験情報

|

03 官庁訪問体験記

|

04

就職活動体験記



|

05 文部科学省に決めた理由

|

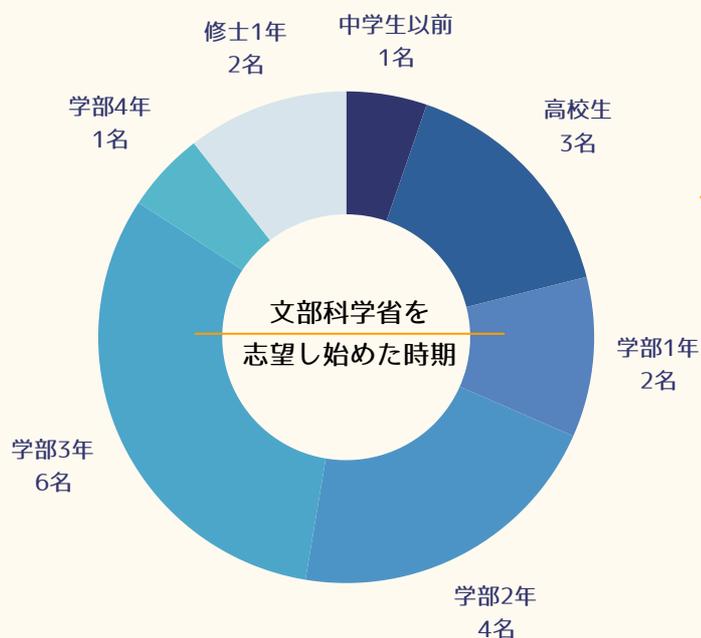
06 インタビュー

|

07 内定者プロフィール

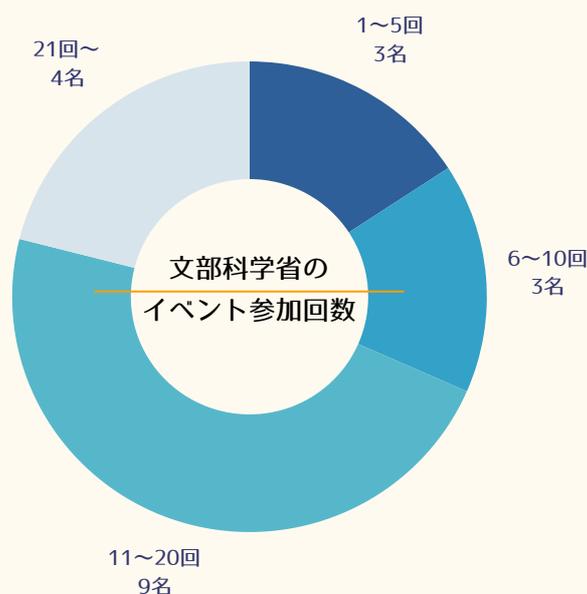
事務系内定者：19名
(うち施設系1名)

文部科学省への就活



予想以上にまばらですね…！
早い人は《中学生以前》から！

業務説明会には全員が参加！
インターンを通じて仕事のイメージを
具体化した人もいました！



参加イベント内訳

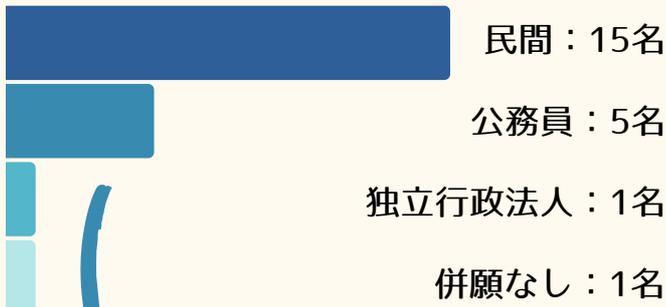
業務説明会.....	19人
少人数懇談会.....	17人
職員訪問.....	16人
政策ワークショップ.....	16人
1 on 1 meeting.....	8人
霞が関OPENゼミ.....	5人
インターン（2週間）.....	7人

※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません



併願状況（国家総合職以外）

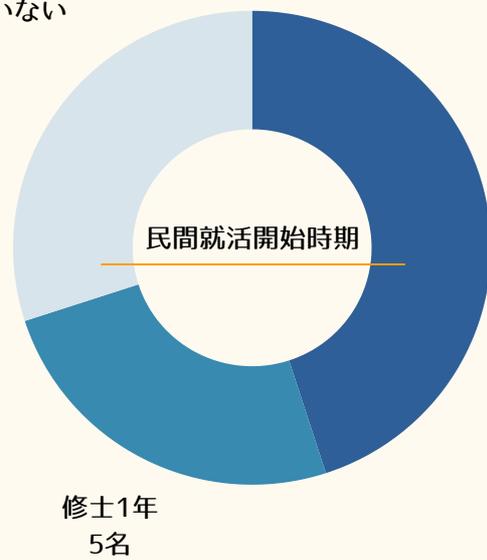
（複数選択可）



教育、コンサル、インフラ、金融、人材、広告・出版、放送、メーカー、金融インフラ

- ・ 国家一般職.....2人
 - ・ 国家専門職.....2人
 - ・ 地方公務員.....4人
 - ・ 国立大学法人.....1人
- ※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません

民間就活していない
6名



民間就活との両立

志望度に合わせて志望数やスケジュールを調整し、適度に力を抜こう

自分の中で優先順位を割り切って決めて、民間は志望数を絞っていました。／国家総合職に集中するため、民間は3社ほどしかエントリーしませんでした。／3年夏に民間のインターンに少し参加し、教養区分合格後は民間がメインで府省庁はイベントに参加するくらいでした。／最初は民間第一だったので、3月までにある程度選考を進め、その傍らで勉強をしていました。／民間就活は2023年内で終わらせて、年明けからは公務員に絞りました。／官公庁の説明会やインターンを優先していたが、それ以外の多くの時間を民間就活に割いていました。／公務員試験前に納得できる企業から内定を頂くことを目標としており、試験前から官庁訪問までは民間就活は時々するくらいでした。

民間就活との両立は意外と苦ではない？！

ESの内容やエピソードは公務員就活と民間就活でほぼ同じものを使っていました。／民間でも公務員でも基本的には同じことをしていた（説明会やリクルーター面談に定期的に参加しつつ自身の職業選択について考える）ので、両立させるという意識がそもそもあまりなかったです。／民間就活はあくまで公務員就活の息抜きとして取り組んでいました。／時期がズレているため、あまり苦勞することはなかったです。／教養区分に合格していると比較的余裕を持って民間就活もできると思います。／家では民間就活に関することを行わず、移動時間やアルバイトの休憩等の隙間時間のみで行うようにしました。

05 官庁訪問体験記



04 就職活動体験記



05 文部科学省に決めた理由

研究との両立

コツコツ派もいますが、短期集中メリハリ型が多数！

就活中は公務員就活に全振りしていた。／官庁訪問までは公務員就活に全力を尽くし、官庁訪問後は夏休みを返上して研究に取り組むという、メリハリをつけた行動を意識していました。／卒論は4年になる春休みからコツコツ長期的に取り組んでいました。

就活の情報収集（苦労したこと・工夫したこと）

知り合いの活用

内定者イベントで知り合った内定者の方に色々聞くようにしていた。／説明会や官庁訪問についての情報を集めるのが難しかったので、同じ大学で文科省に就職した先輩などの話を聞いた。

インターネット・SNS・書籍・新聞の活用

SNSから情報をこまめに入れる。／日経新聞（電子版）を読む。／予備校のコースに入っていたものの国家一般コースだった＋自宅で自学が中心だったので、総合職の情報はほぼインターネットや書籍頼り。周りに受験している人がいなかったため、ほとんど自分で収集していた。

業務説明会などの活用

業務説明会で知り合った友人から大量の情報をもらうことができた。／説明会やワークショップで出会った人と連絡を取る工夫をしました。／気になった企業や団体はとりあえず説明会などに参加してみると雰囲気をつかめるため、たくさん参加していた。／主体的に情報を収集し、予定が合うものはなるべく対面で直接行くようにしていました。あまり要領が良くないので、とにかく足を運ぶことを意識していたと思います。／説明会や職員訪問の前に、興味のある分野について考えを整理しておき、質疑応答の時間に積極的にお話を伺った。

予備校の活用

予備校の情報はかなり活用していた。／情報収集は予備校を利用した方が効果的だと考えたので、予備校のセミナーや面談に積極的に参加しました。

情報に踊らされたり、不要な心配をしすぎないように注意！

先輩が受けた印象と自分が受けた印象が違うときに、どう判断すべきか悩みました。結局、「知り合いがこう言っていたんですけど実際どうなんですか？」と直接質問しました。／国家公務員についてはインターネットの情報や噂より、説明会や職員訪問で実際に伺ったり感じ取ったりしたものの方が信頼度が高いように思いました。そのため、噂などには過度に触れないように意識しました。／官庁訪問の情報は都市伝説的なものも多いため、真偽の判断には苦労した。

アドバイス・メッセージ

しっかりと自分に向き合おう

何になりたいか？どの仕事を選ぶか？は自分のやりたいことや問題意識の後からついてくるものだと思います。まずは自分が何をしたいのか、よく向き合うといいと思います。

まずは行動してみよう！

時期や学年は一切気にせず、まずは府省庁の説明会に参加してみましょう！職員の方や他の学生と話すことで刺激を受け、自分の志望理由を言葉にしてみることで、自己分析にも磨きがかかります。

体調を崩さないよう、無理のし過ぎは禁物

就職活動中に様々なことがあると思いますが、何より自らの心身を大切になさってほしいと思います。

ときには思い切った決断も

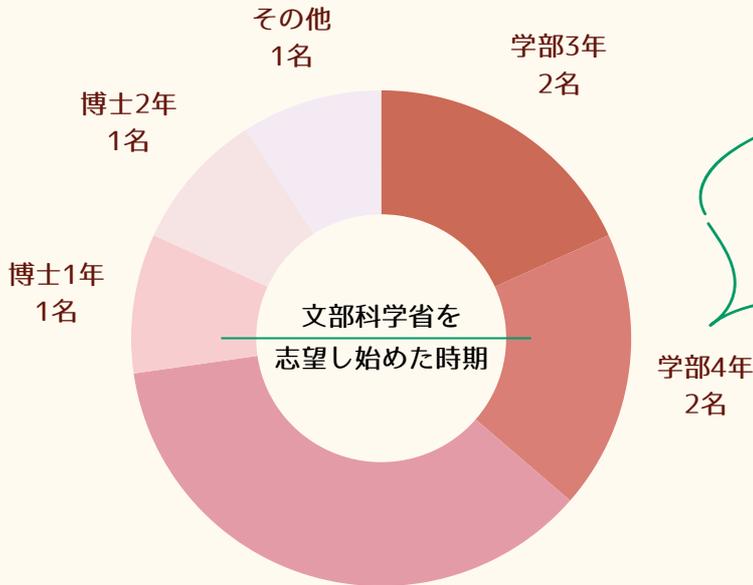
文部科学省総合職専願は絶対に排除すべき選択肢ではありません。もし文部科学省総合職以外考えられないのであれば思い切って専願にしまいましょう。その本気度は相手に必ず伝わります。



技術系内定者：11名



文部科学省への就活



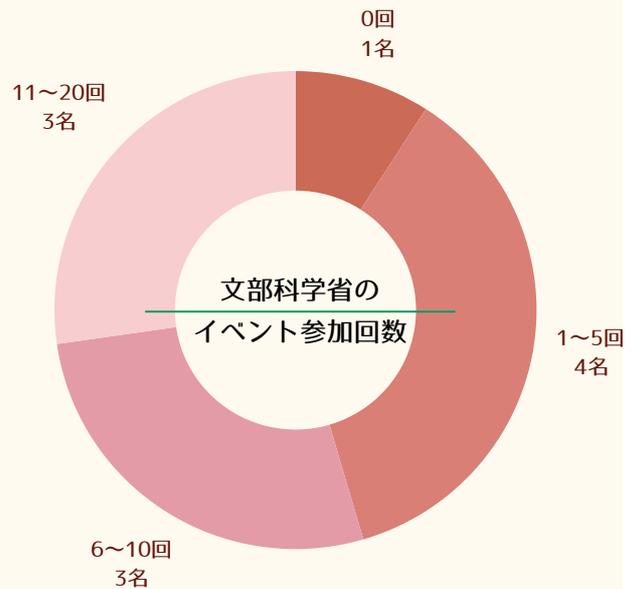
進路を決めるタイミングで志望先を具体的に考え始めた人が多いようです！

やはり職員訪問と業務説明会は多いですね！
11回以上イベントに参加した人も！

参加イベント内訳

職員訪問.....	10人
業務説明会.....	10人
少人数懇談会.....	4人
霞が関OPENゼミ.....	4人
政策ワークショップ.....	2人
インターン（2週間）.....	2人

※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません



03
官庁訪問体験記



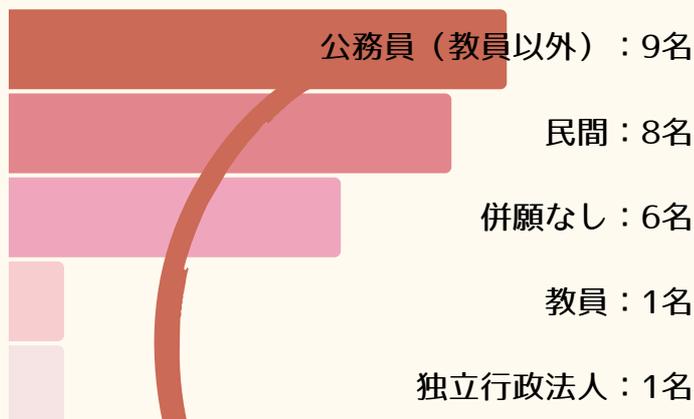
04
就職活動体験記



05
文部科学省に
決めた理由

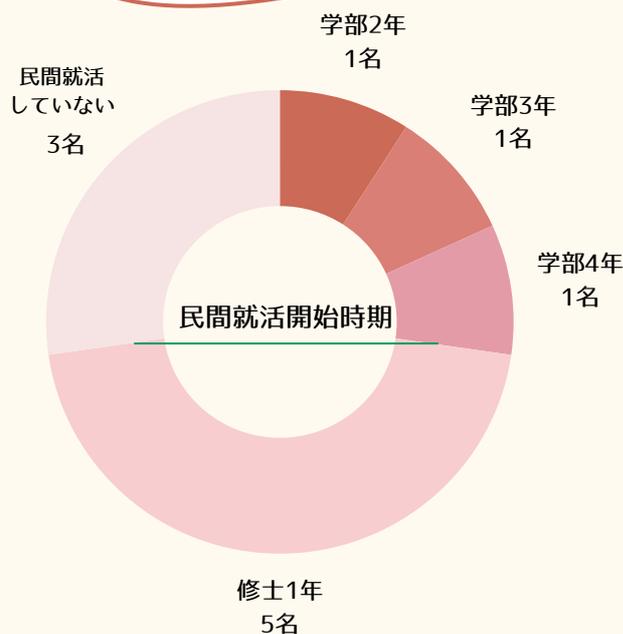
併願状況（国家総合職以外）

（複数選択可）



商社、コンサル、IT、製薬、化学、食品、建設

- ・ 国家一般職.....5人
 - ・ 国家専門職.....1人
 - ・ 地方公務員.....3人
- ※複数回答のため、合計人数は回答者数と一致しません



公務員就活と研究の両立

月単位で分割

1月までは研究をし、2月以降は教授にお願いして研究をお休みしました。／元々、D2までは就活を意識せずに研究に没頭していた。それである程度区切りの良いところまで進めることができ、公務員就活に集中できた。／両立というよりかはどちらかにもう絞ってやりました。直前は教授にお休みを頂いて試験勉強してました。

1週間の中で分割

インターンや官庁訪問で週単位で研究室に行けないときは教授の視線が痛かった。その分、期間前後の平日夜や土日にたくさん実験した。／試験勉強で言えば、土日に過去問解いて平日の午前で復習、残りは研究と決めていた。／研究と就活を同じ日に進めるのが苦手だったので、月や曜日ごとに公務員対策しかない日・研究しかやらない日を決めて集中した

1日の中で分割して同時並行

<公務員試験> → 登下校中の電車で過去問解いた。<その他> → 実験のスケジュールに合わせて説明会に参加した（申し込みがギリギリでもokなものが多く参加しやすかった）／実験は17時までと決めて、その後夜までラボに残って公務員試験の勉強をしていました。

優先順位をつけて両立

無理に両立させようとするのではなく、優先順位をつけて一つのことに集中することを意識していました。

05 官庁訪問体験記

04 就職活動体験記



民間就活と研究の両立

就活時期を分ける

両立する必要がなくなるようにしたかったため、研究が始まる前に民間就活をあらかじめ終わらせておきました。

民間、公務員、研究のやりくり

試験勉強もあるので、受ける民間企業が多いと研究との両立は無理。逆に3月だけ民間にフルベットしたおかげでそれからは研究に移れた。

民間をほとんど受けない

1社しか受けていないので両立と言うほど負担にはなりませんでした。／民間は1社しか受けませんでした。学部の際に民間のインターンに行きましたが、ここではないかなと思っていました。／民間はほとんど考えてませんでした。

就活の情報収集（苦勞したこと・工夫したこと）

SNSの活用

研究室生活だとどうしても情報が入ってこないで、SNSを通じて知った学外の就活イベントに片っ端から出て、まず就活の全体像をつかむようにしました。

民間と公務員の内定を得るタイミング

民間企業では自由応募でも最終面接合格後に教授の推薦書を求められることがあるが、実際に最終面接に合格してみるまで分からなかった。公務員が第一志望の場合、推薦書は出せないで民間は内定保留（本当に入りたくなかった時にまだ採用枠が空いていたら入れてあげる）となり、内定時期の遅い公務員のすべり止めにはほとんど成り得なかった。

業務説明会や対面イベントの活用

周囲に国家公務員試験を受けた人がいなかったため、他府省庁含めた職員訪問や、若手職員との座談会に参加し、勉強や官庁訪問のアドバイスをきいた。／説明会はなるべく対面で参加することを工夫しました。対面だと説明会の後ろに残ってくださる職員の方や周りの就活生とお話できますし、実際に霞が関に行くことでモチベーションを維持することが出来たと思います。

情報に踊らされたり、不要な心配をしすぎないように注意！

ネットに転がっている官庁訪問の体験談を見て震え上がっていました。

アドバイス・メッセージ

就活スケジュールは早めに掴む

スケジュール感を早く掴みましょう。企業の前年度募集スケジュールは調べれば出てくるので、カレンダーにひとまとめにするのが良いと思います。

職種は幅広く見た方が良い

国家公務員に絞って就活を進めるのも良いが、民間などいろいろな業種をしてみるのもいい経験になると思う。

メンタルを強く保って！

最後まで自分のやりたいことを叶えるつもりで全力で駆け抜けること！／自身が3日目に訪問した文科省に内定を頂いたことから、残念な結果でも腐らず、切り替えて、全力で面接などに臨んでください！また、官庁訪問で実際に職員の方と話したときに、自分のやりたいことと差を感じたり、違和感を感じたら、それを大切にしてください。／私は就活生の頃にこの「内定者の声」を何年分かつ読んで、参考になる部分もありつつ結局は成功者の戯言だと思っていました。が、今こうして書く側に回っているパターンもあります。希望をもって頑張ってください！／私の就活（受験）は「覚悟と本気」でした。私は地球科学系統の出身ですが、高校で地学を選択していなかった＆院試では筆記が無かったため、専門二次記述を突破するためには高校地学基礎から始めて大学院試レベルまで勉強する必要がありました。周りからは「本当に間に合う？」と心配されることもありました。が、どうしても総合職として文部科学省で仕事をしたいと考えていた私は、半年間全力で勉強して何とか合格し、内々定を頂くことができました。そのくらいのマインドで就活をすれば、きっと納得できる未来を掴めると思います。全力で今を過ごしてください。応援しています！／公務員第一志望の人は、民間に落ちててもくよくよしなないこと。

03
官庁訪問体験記



04
就職活動体験記



05
文部科学省に
決めた理由

01 内定者統計

|

02 総合職試験情報

|

03 官庁訪問体験記

|

04 就職活動体験記

|

05

文部科学省に 決めた理由



|

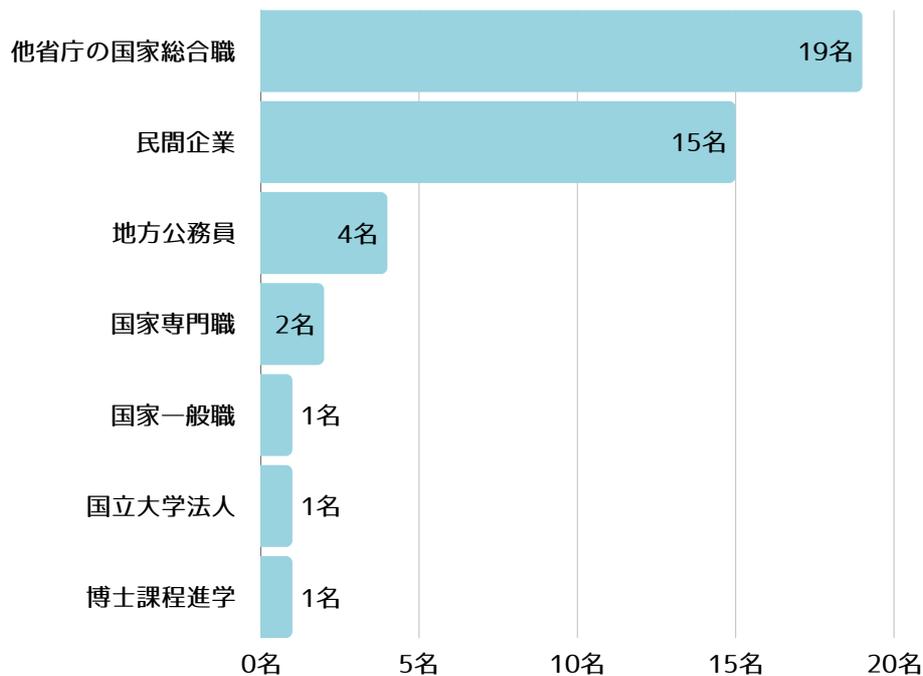
06 インタビュー

|

07 内定者プロフィール

文科省総合職以外に検討した進路

(複数選択可)



迷った理由・決め手

(他府省庁の国家総合職)

・ミッションのチャレンジングさ。目指すべきところがどこにあるのかという問い自体に論争が生まれる「教育」は一生をかけて取り組む面白さがあると思った。それに職員さんが優しい！

(他府省庁の国家総合職、地方公務員)

・どの年代の職員さんもキラキラした目をして未来を語っている姿が他のどの府省庁よりも印象に残った。

(他府省庁の国家総合職、民間企業)

・職員の方が真摯に自分の選択と向き合ってくれたこと。この組織なら安心して飛び込めると思った。

(他府省庁の国家総合職、民間企業)

・自分の最も関心があった教育分野に携われること。

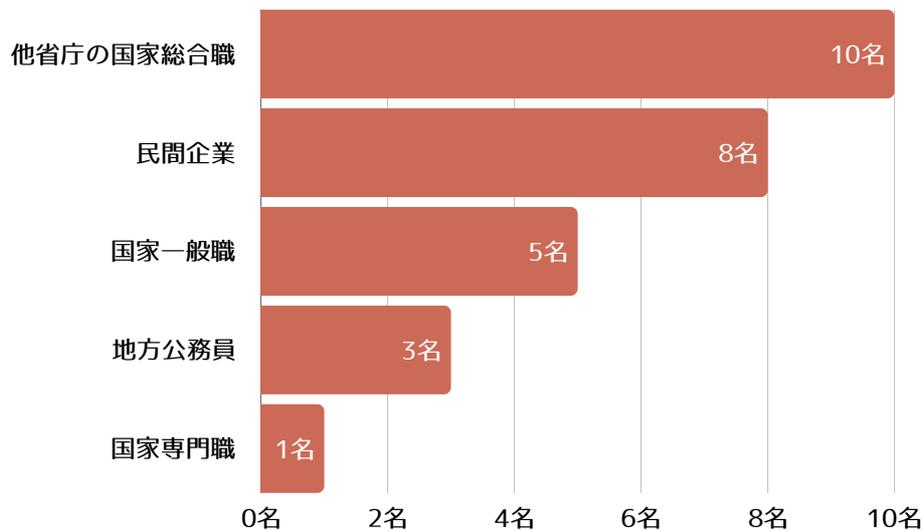
(民間企業)

・未来を向いた前向きな政策を扱っている点が、自分に合っていると思った。また、現場を大切にされている職員の方が多く、一緒に働きたいと思った。

(併願先)

文科省総合職以外に検討した進路

(複数選択可)



迷った理由・決め手

(他府省庁の国家総合職)

- 教育や科学技術、スポーツなどの分野に幅広く興味があり、これまで私自身を成長させてくれた方々、機関に恩返しをし、これからの日本の未来を作っていきたいと考えたから。

(他府省庁の国家総合職、民間企業)

- アカデミアを今よりも盛り上げるために真っ先に浮かんだ選択肢だった。

(他府省庁の国家総合職、国家一般職、地方公務員、民間企業)

- 自分の関心分野以外の仕事も興味を持ってできそうだったから。また、職員さんの雰囲気自分に合っていると思ったから。

(他府省庁の国家総合職、国家一般職、民間企業)

- 元々高校教師になろうとして教育実習をしたのですが、その時に教師の働く姿・環境を見て、この環境を整備改善すればもっと教育の質が上がるのではないかと考えたのがきっかけです。加えて科学技術やスポーツにも興味を持っていたので、それらを国規模で所管している文部科学省を志望しました。

(他府省庁の国家総合職、民間企業)

- 就職先として文部科学省を選んだ一番の決め手は、職員の方々の熱意です。もちろん、自分がやりたいことと文科省の業務内容が合致していることは大前提ですが、官庁訪問の際に職員の皆さんとお話しする中で、「この方々と一緒に働きたい」という気持ちが強まりました。

(併願先)

- 01 内定者統計
- |
- 02 総合職試験情報
- |
- 03 官庁訪問体験記
- |
- 04 就職活動体験記
- |
- 05 文部科学省に決めた理由
- |

06

インタビュー



- |
- 07 内定者プロフィール

学部卒

N.H. さん（学部卒、大卒区分、事務系）

教育学部卒の内定者に、教育分野へ関心をもったきっかけや進路選択について聞きました！

Q1 大学（教育学部）での学びについて

教育学部で教育心理学を専攻しています。具体的には、脳科学を教育に生かすという内容のゼミに所属しています。脳がそもそも機能的にどのように学びを行っているのかというような脳の仕組みを基に、教育のあり方や教育政策について考えてみるということをしていました。それは、文科省志望にもつながった部分ではあるかなと思います。

教育について、その時代にあった教育が必要だという意見と時代に左右されない教育が必要だという意見があって、どちらも大切な考えだと思っているんですけど、後者がやはり大事なのではという思いがあります。卒論も、そういうのを訴えかける内容になっています。

Q2 教育に関心をもったきっかけは？

高校生の時に語学留学で行ったフィリピンで、初めてストリートチルドレンを見ました。小さい子どもたちが学校も行けずに働いている姿を見て、一方で僕は親のお金を借りて語学留学に行っている、そういう構造や格差に衝撃を受けて問題意識を覚えたのがきっかけです。そこで考えた時に義務教育制度に対してのアプローチが本質的だと思い、発展途上国で学校を作りたいと思うようになりました。

その後、関心は国際協力の分野から文科省の教育政策へと広がりましたが、教育の最終的な目的は、その人が幸せに生きられることなのではないかなという思いはブレていないと思います。

Q3 就職活動中に大切にしていたことは？

自己分析です。自分の幸せ、やりがい、満足、理想の姿、価値観が形成された経緯など、3歳の自分まで振り返り分析をしました。業界研究をする前にフラットな視点で自分ってどういう人なのかを考えてみて、自分の価値観を明確にできれば、業界選びもでき、自ずと志望動機もでてくるという感じでした。就活サイトの自己分析のワークシートを利用したりしていました。

Q4 就職活動中のターニングポイントは？

説明会の中で特に印象に残った回が、OECDの会議に参加している職員の方の講演でした。その方のお話を聞いて、文科省に入った理由と、文科省で発展途上国のためになっていると思うことがあるかについて、メールで質問しました。それに対するお答えを聞いて、発展途上国での国際協力の仕事も選択肢に入っていました。文科省で日本の政策に携わりながら海外のためにも貢献ができるかもしれない、と考えを転換できました。

Q5 就活生へメッセージ！

大事なものは自己分析だと思います。皆さんは今まですごく一生懸命走ってきて、なかなか振り返る機会がなかったと思います。就活は、自分の人生を一旦振り返ってみて、自分がどういう人生を生きたいのかという道を定めていく作業なのかなと思っています。これは、就活だけでなく、今後も色々な選択を迫られた時や人生のフェーズが変わったときに自分の道を選択できる力になると思っています。

05
文部科学省に
決めた理由



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール

地方大学出身

地方大学生の就職活動について、本省から遠いからこそその苦労やそれぞれの工夫について聞きました！

Q1 文部科学省に関する情報の収集方法は？

M.K. さん

まずマイページに登録をして、メールマガジンで説明会の情報を確認していました。教養区分の試験が終わった12月頃から、本格的に説明会に参加し始め、職員訪問や少人数懇談会にも積極的に参加していました。説明会に参加し始めてからは、説明会のテーマや興味をもった政策について、HPで調べるようにしていました。

T.N. さん

HPから所掌分野を把握するなど、インターネットで調べられることを中心に情報収集をしていました。人事院が主催している他府省庁合同の説明会にも参加していました。研究や実習で忙しかったので、文科省に関しては、インターンシップに参加して、短期集中的に情報収集をした感じでした。

I.K. さん

国総の試験を受けようと思ったのが3ヶ月前くらいで、当時は他府省庁を中心に見ていたので、文科省のパンフレットを見ていた程度です。官庁訪問では、政策のことを詳しく知っていないといけないわけではなかったのですが、それほど困りませんでした。

Q2 イベントにはどのように参加した？

M.K. さん

基本的にはオンラインで参加しましたが、文化庁開催の時は対面で参加していました。やはり対面で参加すると雰囲気や掴みやすかったり、様々な関心をもつ学生に出会えるので貴重な機会でした。知り合った学生とは、その後も政策に関する勉強会をするなど連絡を取りあっていました。

M.K. さん (学部卒、大卒区分、事務系)

M.M. さん (学部卒、大卒区分、事務系)

T.N. さん (博士卒、院卒区分、技術系)

I.K. さん (修士卒、院卒区分、技術系)

M.M. さん

説明会や職員訪問を利用して、職員さんから直接情報を集めていました。オンライン参加が中心ですと場の雰囲気を知ることができないので、一度東京の説明会に対面で参加したことがあります。試験の合格から官庁訪問までは意外と期間があるので、省内の雰囲気を知るためにも対面参加の機会を作ることをおすすめします。

T.N. さん

学部生時に説明会には少し参加していましたが、院生時にインターネットの情報収集だけでは限界があると感じたので、現場を体感したいと思いインターンシップに参加しました。研究が忙しく、あまり時間を割けない状況でしたが、やはり対面で参加してよかったと思います。実際に参加してみて、時間を有意義に過ごすためにも、自分の研究に関する文科省の政策（研究支援制度や科学技術系の政策）など基礎知識は持った状態で参加した方が良かったなと思いました。

I.K. さん

説明会は東京か京都開催が中心で、研究も忙しかったため、オンラインで参加をしていました。他府省庁も含めて、オンラインで職員の方に気になることを全部聞いていたので、それで十分なのかなとは感じていました。

05
文部科学省に
決めた理由



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール

Q3 地方大学出身者の苦勞と強みは？

T.N.さん

周りに志望者が少ないために情報共有が難しく、本省への距離も遠いので、イメージが湧きにくかったですね。オンラインとかツールが発達してきて、それは時期的に良かったのかなとは思いますが。

強みとしては、モチベーションを対面参加の機会まで蓄えられることかなと思います。

I.K.さん

地方大学だと、対面でイベントに参加することは考えにくかったです。あとは、OBやOGの方も少ないので情報が少なく、自分で全部情報収集しなければいけないことは大変でした。

強みは、通っている大学の話題になることですかね。ああそこなんだみたいな(笑)

M.K.さん

国家公務員志望者が周囲にたくさんいる環境ではなかったもので、身近な選択肢ではなかったです。

一方で、教育や文化の分野に通ずるような経験ができたことは強みなのかなと思います。文化施設でアルバイトをしたり、伝統工芸の職人さんと関わる機会があったり、地域の子もたちの居場所づくりに関わったり、この地域で住んでいるからこそ経験できたと思います。

M.M.さん

東北出身なので、大震災を経験しました。その時の話が科学技術系の政策につながったりとか、元々のウィークポイントである原体験を強みに活かすみたいな形で考えていました。

Q4 地方大学の就活生へメッセージ！

T.N.さん

内定をいただけたのは運の要素も強かったのかなと思っています。距離が遠かったり、研究で時間がなかったりと就職活動は大変だと思いますが、自分で考えて選んだ手段を1つ1つやっていけたら、時間がなくても活路は見いだせるかもしれないなと思います。できる限りのことをやったら、あとは天命を待って、体調だけは気をつけていただけたらと思います。

I.K.さん

距離の面など難しい点がありながらも、それを乗り越えて受けようと思う方々は、気持ちの熱量はかなり高いものがあると思っています。官庁訪問では条件は変わらないので、その熱量で押ししていけば大丈夫ではないかなと思います。運も上手くつかみとっていただければと思います。

M.K.さん

説明会でお会いできた職員の方や学生の方のご縁があって、自分の思いが固まりました。大変な点もたくさんあると思いますが、人とのつながりも自分の力になると思うので、是非大切にしていただけたらなと思います。

M.M.さん

周りに同志がいなかったり、東京への移動等で出費が重なったり、地方には地方特有の困難がありますよね。置かれた環境に対する「仕方がない」で消化しきれない思いは負けん気に変えて、努力を継続していただけたらと思います。皆さんの将来に幸あれ！

官庁訪問期間の過ごし方

- ・よく寝る
- ・よく食べる
- ・友人と食事
- ・地方公務員試験を受験
- ・研究を進める
- ・神社にお参り
- ・兄弟の家に滞在して掃除のお手伝い
- ・博物館や図書館に行く
- ・官庁訪問で仲良くなった学生とお出かけ

05
文部科学省に
決めた理由



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール

院卒&独学

研究で忙しい大学院生かつ独学で最終合格と内定を勝ち取った秘訣やポイントを聞いてみました！

Q1 研究者の道と迷った経験・公務員を目指したきっかけ

A.H. さん

ドクター進学も考えていたんですけど、論文を出す見通しが立ち満ちたので就活を始めました。国家公務員を目指したきっかけは、友達が官僚になっているのを見てカッコいいなと単純に思ったことです。

K.Y. さん

自分も近くて、修士になったときはドクターに行く、つまり、メーカーの研究職などをメインで考えていました。ただ、研究って上手くいく時といかない時があって、うまくいく時は順調に進むんですけど、全然進まない時に気持ち的にすごい病んじゃうタイプなので、それを一生の仕事にするって結構しんどいのかなと思いました。そこで、その研究を自分が進めるより支えていく方に就けたらいいなというところで、文科省がちょうどいいなと思って志望するようになりました。

O.S. さん

実は、逆に私は研究者の道とは迷ったことがなくて、修士で卒業するつもりで大学院に進みました。元々社会課題のうちで関心が強かったのが教育で、教育にこだわるなら民間企業よりも行政の方が課題に対してアプローチできるかなと思って国家公務員を見始めました。ただ、今(学部卒で)文科省に行っても社会に対して何か具体的なことが言えるわけではないという思いがありました。それに自分の学部には卒論もなかったもので、一度、自分は大学でこういう視点でものを見て、こういう風に考えたということをやってみてから、社会に出たいと考えていたので、大学院に進んで今に至るという感じです。

O.S. さん(修士卒、院卒区分、事務系)

T.T. さん(修士卒、大卒区分、事務系)

A.H. さん(修士卒、院卒区分、技術系)

K.Y. さん(修士卒、院卒区分、技術系)

Q2 公務員試験と研究の両立はどうしてた？

A.H. さん

これを言ったら身も蓋もないんですけど、稼働時間を増やしました。試験直前の3月から4月くらいまで研究室がとても忙しかったのですが、試験勉強では色んなことを逆算して、例えばこの週はこれやろうとか、無駄なことにはあまり時間使わないようにしました。作戦を結構しっかり立てたのは両立する上でよかったかなと思っています。

O.S. さん

私もこれを言うともっと身も蓋もないんですけど、公務員試験を後回しにしたというのが回答になると思います。研究室やサークルと公務員試験が被ってしまってとても忙しかったのですが、大学院の授業や民間就活でやったことが活きたりしました。研究との両立という意味では、研究を頑張ることが試験対策につながるのかなと思います。というのも、それまでの大学生活をちゃんと頑張って考えて過ごしていたら、そこまで根をつめなくても評価してもらえるのかなと思います。あとは、自分の心にちょっと逃げ道を作ってやる方が精神的負担を減らす策として良いと思います。例えば、教養試験の時はダメでも春試験があるしって思いながら受けてみるなど逃げ道を作ることが、もう全部やめたってなりに頑張り続けられるコツだったかなと思います。

05
文部科学省に
決めた理由



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール

K.Y.さん

自分の場合は、とりあえず合格するために最低限何が必要で何が不要じゃないかみたいなのを分けていました。自分の作戦としては足切りを突破して行って、最後に英語の加点などでまくれればいかなという作戦でした。結果的に一次の多肢選択などは本当に足切りギリギリの点数だったのでうまく両立できていたとは言えないんですけど、とりあえず最低限だけをやっていくという作戦でやっていました。

T.T.さん

皆さん言っていたことですが、まずはゴールを把握してどれくらい取りたいか分かっているから逆算するというか、勝ち筋を立てるということをやっていました。両立で言うと私は両立しているイメージはなくて、時期ごとにこれを一番頑張るというのを定めておくというイメージでやっていました。両立する上で一番大変なのは、どっちをやろうって迷うタイミングだと思うんですよ。こっちに手をつけてみたけど、もう片一方に手をつけられていなくて焦るみたいな。それが一番大変だと思うので、この時期にはこれが一番大事って決めておけば、隙間時間に何やるのがいいかもパッと判断できるので良いと思います。

Q3 大学院生の受験生に向けてメッセージ

T.T.さん

就活に関する情報って、周りの友達や先輩であったりインターネットであったり、色んなところでこうあるべきとか、こうやった方がいいよみたいな、一理あるなみたいなのが本当にたくさんあると思います。そこに一旦乗っかってみるっていうのもすごい大事だと思っています。全部逆張りするのがいいというわけでもないですし。でも自分はこうだからって、そうじゃない道を取るのもいいと思うし、なんというか、結局どのくらい乗るか乗らないかも、自分の納得のいくようにいい塩梅でできたらいいと思います。

O.S.さん

興味を持ってこの冊子を読んでくださってるっていう時点で向いている度合いはきっと人より高いと思うので、まずは気軽に何かアクションを取ってみてもらえたら、そこから広がる世界があるのかなと思います。もちろんちゃんと準備をして臨んだ方が得られるものも大きいし、いい印象を持ってもらえるかもしれないです。でも、気負いすぎて準備ができるまで接点を持つのをやめようってなるよりは、まず最初に接点を持ってほしいです。そこから見える世界とか、そこで見えた必要なことを頑張るっていう方が効率もいいし、モチベーションも上がるし、結果的にいいことは多いと思います。

官庁訪問までに会える機会は別に一人一回とか回数制限があるわけじゃないので、興味を持った時点でとりあえず気負わず接点を持つとというのがいいのかなと個人的には思います。良い選択になりますように。応援しています。

A.H.さん

やっぱり僕は民間就活はしておいてよかったなとすごく感じました。もしも本当に公務員単願でも、もうその一本で行くという人は別にそれはそれで覚悟決めていくのもいいんですけど、やっぱり民間就活での経験は絶対に公務員就活に役立つということは知っておいてほしいですね。結構時期的に重なるので大変だとは思いますが、特に官庁訪問の時に民間就活で色々面接した経験がめちゃくちゃ役に立つので、ちょっと今は辛抱の時期だと思ってぐっとこらえて頑張ってみてほしいなと思っています。応援しています。

K.Y.さん

この文章を読んでいるのは結構院卒の方が多いと思うんですけど、全然文科省に関係ないような研究をしても、そういう経験や考える習慣とかが数値化できないようなところでも絶対自分の力になっていると思います。なのでまずは研究を大事にして、しっかり頑張ってもらいたいと思います。そして、あくまで個人的な感想なんですけど、官庁訪問で文科省の方とお話してみたら結構皆さん優しい方、温かい方が多かった印象なので、本当に気軽に来ていただけたらと思っています。応援しています。



技術系 既合格

総合職試験（「教養区分」を除く）に最終合格すると、以降5年間は採用候補者名簿に記載され、官庁訪問に参加することができます。
※人事院HPより要約、2024年度時点

文部科学省では通常期の官庁訪問とは別に、技術系・施設系で前年度以前に最終合格した方（既合格者）対象の官庁訪問を実施しています。

2024年度は、通常期の一週間前に既合格者向け官庁訪問（5日間）が実施されました。
（第1クール：月～火、第2クール：水～木、第3クール：金）

（対象者が少ないがために）通常期以上に謎に満ちた、既合格者向け官庁訪問……。

そこで、2024年度既合格者向け官庁訪問で内々定を獲得した技術系のお二人に語ってもらいました！

F.N. さん（博士卒、院卒区分、技術系）

2023年春（博士課程2年時）に総合職試験を受験・最終合格
説明会への参加や職員訪問を経て、2024年6月（博士課程3年時）の既合格者向け官庁訪問で内々定

I.N. さん（修士卒、大卒区分、技術系）

2023年春（修士課程1年時）に総合職試験を受験・最終合格
インターンシップや職員訪問を経て、2024年6月（修士課程2年時）の既合格者向け官庁訪問で内々定

Q1 なぜ国家公務員試験を 1年早く受験したのか？



F.N. さん

私は博士課程に在籍していて、元々は修了後もアカデミアに残りたい考えていました。ただ、ポストクの環境を知るうちに自分がやっていけるのか不安になってきてしまっ。そこで安心材料が欲しくなって、とりあえず受けるだけ受けようと思って受験しました。そのときはまだ本命はポストクで、公務員試験はバックアップ的な感じで考えていました。

I.N. さん

私は学部生の頃に、理系でもそれを活かして公務員になれるということをつたつた知って興味を持ちました。修士課程への進学が決まっていたのですが、無料だし、来年の就活本番に向けて雰囲気だけでも知っておこうと思って直近の試験にとりあえず申し込みました。

05
文部科学省に
決めた理由



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール

Q2 試験最終合格～官庁訪問の1年間は どう過ごした？

F.N. さん

試験を受けたときは特に志望府省庁を決めていなかったの、合格後から説明会や職員訪問に参加しました。そこで文科省の「人」がすごくいいなと思って本格的に志望するようになりましたね。

元々研究職志望だったので自分で手を動かしたいという気持ちもありましたが、自分が一番重視しているポイントは実はそこではない、ということにも職員訪問などを通して気づくことができました。

I.N. さん

私はなかなか勇気が出なくて、職員訪問は官庁訪問直前の3月にやっと行きました。さすがに一回は行っておいた方がいいのかなと思って駆け込みで（笑）。

あとは合格後に夏のインターンで文科省に通って、それでモチベが保てた感じです。

Q3 既合格者向け官庁訪問の雰囲気は？

F.N. さん

実質2日間の短い選考でした。第1クール初日はみんな緊張していて控室も静かでした。

I.N. さん

そうそう、でも第2クール1日目は人事課の職員さんが朝から控室で喋ってくださってそれでみんなも喋るようになりました。あと某宇宙漫画が置かれていたのも大きかったですね。第1クール初日はただ置き忘れていただけと聞きました（笑）。

F.N. さん

あと私は前年度の既合格者向け官庁訪問で内々定をもらった方の人数を知っていたので、今年も同じならみんな受かるくらいだろうと思ってあまりピリピリしていませんでした。

I.N. さん

でもいざ蓋を開けてみたら全然違ったと。前年度の人数は参考にならないということをお伝えたいですね。油断する必要も過度に緊張する必要もないということですね。

I.N. さん

あとは土日を含んだ通常期の官庁訪問に対して、既合格者向けは1週間で終わるというのも特徴だと思います。自分にはそのスピード感が合っていました。

F.N. さん

うん、あの経験は短い方がいい（笑）。

Q4 通常期内々定組との合流は問題なかった？

F.N. さん

確かに通常期の方々は2週間一緒に過ごした仲だから、お互いの知識量みたいなものは最初は感じました。だからといって隔たりを感じることはなかったので、むしろ合流時に特別な印象はないですね。みんないい人そうだなと思いました。

I.N. さん

通常期官庁訪問の最終日の内々定式前に合流して、そこですぐLINEグループにも入れてもらいました。お互いのことを知れる機会は入省までも後にもまだまだあります。

Q5 スバリ！ 既合格者枠のおすすめポイント

F.N. さん

試験合格から官庁訪問まで1年あるので精神的にも身体的にも余裕をもって官庁訪問対策ができるころだと思います！

私は特に官庁訪問で事前に提出する「訪問カード」を記入するのに苦労したので、試験勉強と並行してあれを書くのは私にはちょっと無理だったかなと……。

I.N. さん

私も似ていて、試験の最終合格（＝官庁訪問の参加資格）が確定した状態で官庁訪問対策ができたのは精神的余裕につながったと思います。

そしてその余裕のおかげで、本業である研究や民間就活にも悔いなく取り組めたのかなと。国家公務員に少しでも興味のある方は、ぜひ早めの受験を選択肢の一つに入れてみてほしいです！

05
文部科学省に
決めた理由



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール

- 01 内定者統計
- |
- 02 総合職試験情報
- |
- 03 官庁訪問体験記
- |
- 04 就職活動体験記
- |
- 05 文部科学省に決めた理由
- |
- 06 インタビュー
- |

07

内定者 プロフィール



1. 事務系／技術系・区分（卒）
2. 大学・学部
3. 併願先（府省庁・民間）
4. 現在の関心分野
5. サークル・趣味・ボランティア経験



研究テーマ・専門分野

文科省に抱いているイメージ

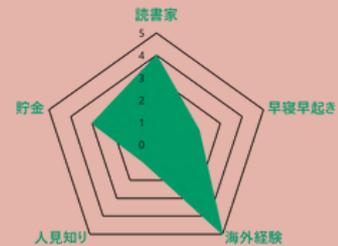
内々定が決まった時の感想

内々定後なにをしていたか

今後の意気込み

文科省を目指す方への
メッセージ

自分を表す
レーダーチャート（例）



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系 数理科学・物理・地球科学区分（院卒）
2. 東京科学大学大学院（旧東京工業大学大学院）地球惑星科学コース
3. 厚労省、メーカー、産総研、独法
4. 宇宙開発
5. 大学ではカバディサークルに所属、最近登山を始めた

研究テーマ・専門分野

惑星科学は、太陽系惑星や系外惑星の成り立ちからその行く末、さらには生命の探索に至るまで幅広く取り扱う学問です。私が研究しているテーマは惑星から宇宙へ流出した大気が、その惑星の周りを公転する衛星に当たるとどのような影響があるかを調べるといふものです。

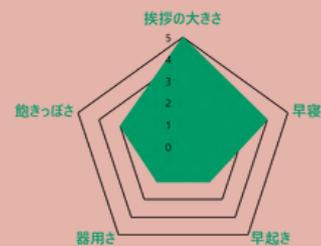
上手くいけば今後国際的に進められていく月面探査にも僅かながら貢献出来そうで、楽しく研究できています。

内々定が決まった時の感想

安堵の気持ち100%でした。民間就活を並行していましたがいわゆる納得内定が貰えていなかったんですね。官庁訪問ではいっそ開き直ってやろうという心づもりでしたが、やはり決まるまではソワソワしていたのを覚えています。

文科省を目指す方へのメッセージ

官庁訪問で何が上手くいったのかと自分なりに振り返ると、面接というより議論をしにいく気持ちでいた事かなと思います。技術系を受ける方は普段から先生とたくさん議論しているでしょうからその経験が活きるはずです！



I.N.



- 1.技術系 化学・生物・薬学区分（大卒）
- 2.東京科学大学大学院（旧東京工業大学大学院）生命理工学院
- 3.併願府省庁なし、IT企業（SIer）
- 4.科学技術コミュニケーション、大学を中核とする地域振興、生涯学習
- 5.読書、フィルム写真、洋服づくり（編み物）

研究テーマ・専門分野

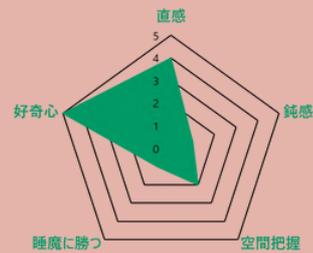
うつ病をはじめとする精神疾患に関心があり、発症機構の解明および新たな薬の開発につなげるべく遺伝子改変マウスを用いた研究を行っています。

今後の意気込み

（研究テーマにも通じますが）人の考えや生き方への関心が強く、人々がより良く生きられるよう尽力したいというモチベーションがあります。この初心を忘れず自分の仕事の先にいる人々への意識を持ち続ける行政官でありたいです。

文科省を目指す方へのメッセージ

人事を尽くして天命を待ちましよう。
応援しています！



I.R.



- 1.事務系 教養区分（大卒）
- 2.東京大学文学部
- 3.経済産業省、教育業界、スポーツ業界
- 4.伝統文化の保全と継承、地域スポーツ振興
- 5.ボート部、ランニング（マラソン）

研究テーマ・専門分野

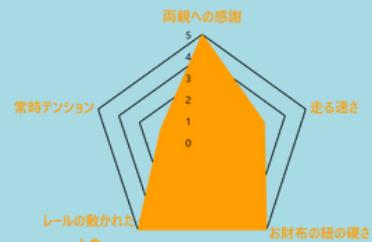
日本文学専攻で主に日本最古の和歌集である『万葉集』について研究しています。現在SNSなどでも「共感」を求め人が多いように、昔の和歌を読んで昔の人が見た風景・感じた思いを感じ取ることに魅力を感じ、万葉の道へ足を踏み出しました。役に立たないと言われることの多い文学研究ですが、文字を通して「人（作者・登場人物）」を学ぶことは心の豊かさをもたらし、異なる価値観に触れることは生きる上で大いに刺激になると思っています。

内々定が決まった時の感想

第一志望だったので、単純に嬉しかった。官庁訪問期間は、「自分のやりたいことは何か」と「その府省庁で何ができるのか」を考え続けた期間で、そこに対してやり切ったという思いがあった。

文科省を目指す方へのメッセージ

自分のやりたいことは何か、それができる組織はどこか。この両者を考え続けることが就活では大事だと思います。是非そこを考え続けてください。もしそれが文部科学省なのであれば、一緒に頑張りましょう。



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール



I.R.



- 1.事務系 工学区分（大卒）
- 2.東京理科大学大学院工学研究科
- 3.国土交通省、特許庁、インフラ業界
- 4.生涯学習
- 5.軽音サークル

研究テーマ・専門分野

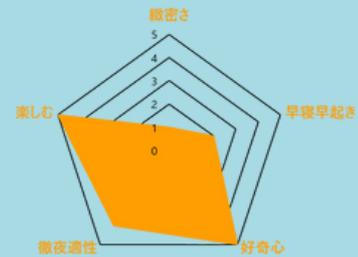
日本の伝統的な街並みの防災に関する研究

内々定が決まった時の感想

内々定者のみなさんと会い、不思議な気分でした。

文科省を目指す方へのメッセージ

文科省の管轄範囲において、自分なりの思いを持った人が多く働いている印象があります。自分の文科省への気持ちをしっかり持っていれば大丈夫だと思います。



I.K.



- 1.技術系 農業科学・水産区分（院卒）
- 2.岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻
- 3.財務省税関、農林水産省
- 4.日本の博士号取得者数の減少や博士人材の待遇改善、将来のキャリアの拡大。基礎・応用問わず、日本の研究力の底上げ。
- 5.趣味は野球、各種スポーツ全般の試合観戦、ゲーム、料理

研究テーマ・専門分野

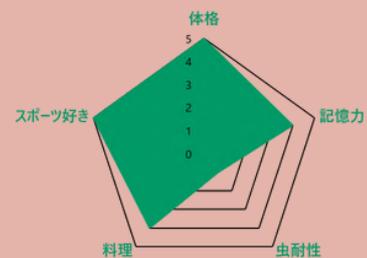
東日本大震災で問題となった放射性セシウムによる、農地の土壌汚染問題を受けて、土壌中の有害金属を植物に吸収させながら通常通り生長させて、その植物を処理することで、汚染土壌の浄化を目指す『ファイトレメディエーション法』の確立に向けた基礎研究を行っていました。

文科省に抱いているイメージ

とてもあたたかな職場で、その人自身を見られる職場だなと感じました。官庁訪問などで、自身の考えや気持ちを話す際には、どの職員の方も真摯に聞いてくださり、様々な意見交換を行うことができ、充実した時間だったことを覚えています。

文科省を目指す方へのメッセージ

就活は自分自身と向き合うことが多くなると思います。その中で、文部科学省の仕事や今回の内定者を含む職員の方々の考えが、自身の中で少しでも興味を惹かれるものがあったり、引っかかるものがあれば、気軽に説明会に参加して直接話を聞いてみてください！ 皆さん、真摯に話を聞いてくれると思います！



06
インタビュー



07
内定者
プロフィール



I.M.



- 1.事務系 教養区分(大卒)
- 2.お茶の水女子大学生活科学部
- 3.厚生労働省・内閣府、メーカー・マスコミ
- 4.いじめ・不登校、特別支援教育
- 5.サークル：軽音楽・災害系ボランティア、ボランティアは小学生から現在まで継続

研究テーマ・専門分野

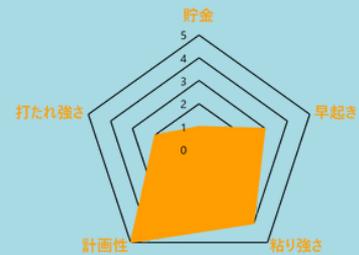
専門は心理学で、
日中に自由な時間がなかった時に目的のない夜更かしをしてしまう現象について研究しています。
社会保障のゼミにも所属しており、障害や貧困についても学んでいます。

内々定が決まった時の感想

自分にできることは全て出し切ったので、今までの頑張りが報われたようで非常に嬉しかったです。同時に、お世話になった職員の方や家族、友人に早く報告し、感謝を伝えたいと感じました。

文科省を目指す方へのメッセージ

周りの人をたくさん頼ってください。私は官庁訪問でうまくいかなかった時、一緒に対策をしていた友人に相談に乗ってもらい、それが支えとなりました。時に辛いこともある就活ですが、乗り越えた先には明るい未来が待っています！



E.S.



- 1.事務系 政治・国際・人文区分(大卒)
- 2.慶應義塾大学法学部政治学科
- 3.防衛省
- 4.主権者教育、大学改革
- 5.サークルはサイクリング、麻雀。趣味はサイクリング、読書

研究テーマ・専門分野

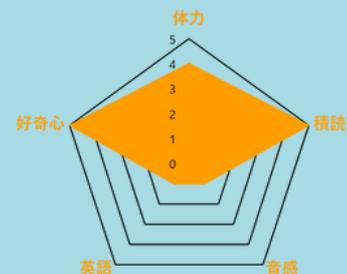
現代日本政治。候補者の属性データを用いた過去の総選挙における当落要因分析や、世論調査データを用いた戦後歴代総理大臣の民主的正統性の検証などをしていました。

文科省に抱いているイメージ

とても人当たりが良く優しい反面、熱い信念を持っていて議論好きな職員の方が多いというイメージです。教育を所管する省庁なだけあってか、「人」が好きの方が多くという印象も強いです。

文科省を目指す方へのメッセージ

政策の勉強はもちろんのこと、その勉強を通じて自分の作りたい社会の形や実現したい願いを明確にすることが大切です。就活は悩むことが多いと思いますが、悩みぬいた末の決意は大きな財産です！頑張ってください！



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール



O.S.



- 1.事務系 行政区分（院卒）
- 2.京都大学大学院教育学研究科
- 3.コンサルティングファーム、ITベンチャー
- 4.教育、文化芸術
- 5.演劇サークル

研究テーマ・専門分野

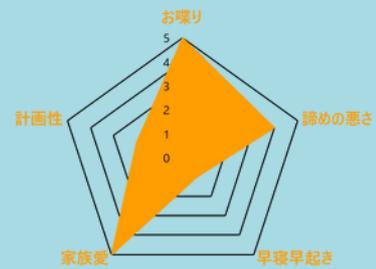
教育行政学を学んでいます。
特に主権者教育やカリキュラム・マネジメントに関心があります。

今後の意気込み

行政官の立場で社会に対して
何ができるのか、先輩方の背
中を見ながら考え続けたいと
思います！

文科省を目指す方へのメッセージ

気負わず、ありのまま向き合うと良
いと思います！ 巷には情報が溢れ
ていますが、文科省の職員さんや企
業のリクルーターさん、先輩など沢
山の方と直接話した上で、信じる道
を見つけてください。素敵な選択に
なりますように…！



K.R.



- 1.事務系 行政区分（院卒）
- 2.京都大学公共政策大学院
- 3.総務省（自治）、厚生労働省、コンサル、金融
- 4.部活動、教員の働き方改革、科学技術
- 5.ボート部、公共政策インゼミ、バレーボール

研究テーマ・専門分野

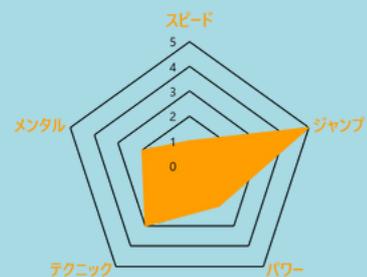
学部時代は刑事学ゼミに所属し、少年法について学びました。
大学院では、公共政策について幅広く学んでおり、教育予算の改革の変遷について研究したり、
自主ゼミでは京都市のオーバーツーリズムを研究したりしています。

内定後なにをしていたか

内定後は友人と飲みに行ったり
旅行に行ったりしてリフレ
ッシュしました。他にも部活
動の大会運営やサークルの運
営にも顔を出すようにして、
できていなかった活動に力を
入れていました。

文科省を目指す方へのメッセージ

悩むことも多いですが、最後自分が
何をしていきたいか、どういう人間に
なっていきたいかを真剣に考えるプロ
セスは人生において貴重な経験だと思
います。楽しみながら頑張ってく
ださい！



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール





K.Y.

- 1.事務系 行政区分（院卒）
- 2.大阪大学大学院人文学研究科
- 3.農林水産省、経済産業省、地方公務員、教育系企業、出版社
- 4.文化行政（特にこれから日本の代表的な文化となりうる領域の支援）、部活動改革、高等教育のあり方
- 5.サークル：サッカーサークル、文芸部 ・趣味：読書、将棋、美術館巡り

研究テーマ・専門分野

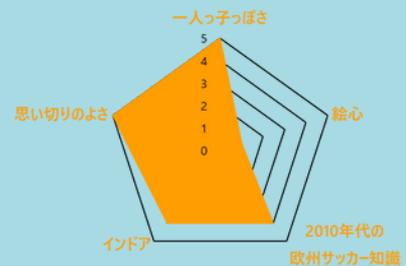
研究テーマは、現代イタリア文学、特にイタロ・カルヴィーノという20世紀を代表する作家の小説です。具体的には、彼の《我々の祖先》三部作という小説群を、特に物語の構造や一人称の語り手のタイプに注目して比較・分析しています。そして、三部作内での語りの手法の差異が執筆当時の作家の大きな問題意識、つまり人間の主観性の回復と結びついているのではないかと、という可能性を提示しようとしています。

内定後なにをしていたか

修論執筆に追われつつも、友人と食事に行ったり、美術館を巡ったり、久しぶりに大好きなサッカーをしたりと、自由な時間を満喫しています。教育関係の本の読書会を開催するなど、就職後の準備も（多分）万端です。

文科省を目指す方へのメッセージ

私は、どんな社会を実現したいか、そのために文科省でできることは何かを突き詰めて考えて、軸をしっかり立てるようにしていました。就活は本当に大変だと思いますが、陰ながら応援しています！



K.N.

- 1.事務系 教養区分（大卒）
- 2.東京大学教育学部
- 3.厚生労働省、コンサル
- 4.不登校、特別支援教育、経済的に困難な家庭の児童生徒への教育など。多様な背景をもつ児童生徒が力を発揮するための学校をどうやって実現するかについて考えたいです。
- 5.オーケストラでコントラバスを弾いています。趣味は、お菓子をつくったり、お菓子屋さん巡りをする事です。教育系のNPOで、生活困窮世帯の子どもへの支援や公立中学校の放課後居場所支援に関わっていました。

研究テーマ・専門分野

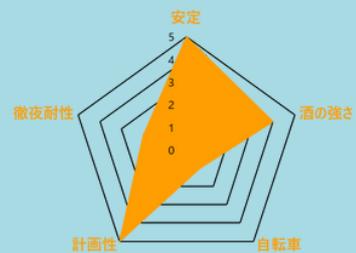
教育社会学を専攻しています。卒論は地方の女子学生の進路選択についてで、地方出身であることと女性であることの2つの属性が、彼女らの進路をどのように規定してくのかを明らかにしたいと思っています。

今後の意気込み

現場を大切にしていきたいと思います。NPOで子どもと関わった経験が自分にとっての原体験なので、働き始めてからも初心を忘れずに、現場との接点を持ち続けたいです。

文科省を目指す方へのメッセージ

周り自分を比べて落ち込むことがあるかもしれませんが、きっとあなたもそれなりに努力しているはずなので自信をもってください。楽しもう、という気持ちでいれば、就職活動は案外うまく行ったりします！



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール





K.Y.

- 1.技術系 化学・生物・薬学区分(院卒)
- 2.東京科学大学大学院(旧東京工業大学大学院)生命理工学院
- 3.原子力規制庁
- 4.アントレプレナー教育、博士人材育成
- 5.ちいかわ、Bリーグ観戦

研究テーマ・専門分野

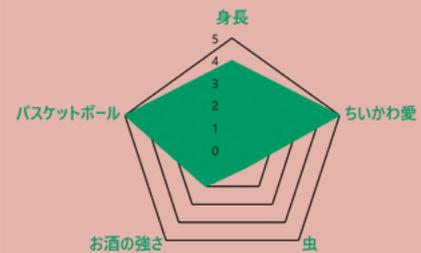
研究テーマは”ドラッグデリバリーシステム(DDS)”であり、体内でいかに薬剤を効果的に効かせられるかを追求する分野です。そのデリバリーツールとして、体内の赤血球に着目し、赤血球内に封入して、疾患へのアプローチを試みました。現在は細胞に対して行なっている段階で、今後は実際に動物に対しても効果があるか検証していく段階です。

内々定が決まった時の感想

官庁訪問は私の中では楽しい記憶のまま4日間過ぎ去ったので、終わってしまうという悲しい気持ちと終わってくれたという安堵感の両方がありました。

文科省を目指す方へのメッセージ

共に明るい日本の未来を築いていきましょう。



S.Y.

- 1.技術系 工学区分(院卒)
- 2.東京理科大学大学院物理学専攻
- 3.こども家庭庁
- 4.科学技術関係人材の育成・確保(特に女性の理工系進学支援)
- 5.サークル:軽音
趣味:コンサートやライブに行くこと、怪談収集

研究テーマ・専門分野

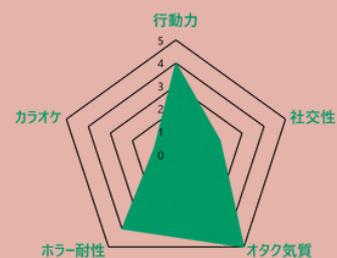
研究は宇宙生物学に近い領域のことをしています。生命の誕生に必要なアミノ酸が、過去の火星で生成したかについて研究しています。生命の起源や発生条件を探る、夢のある研究です。

内定後なにをしていたか

友人から「働いたら遊ぶ時間が限られる」と聞いたので、研究の合間を縫って旅行やライブに行きまわりました。

文科省を目指す方へのメッセージ

文科省でおすすめのイベントは職員訪問です。業務の理解が深まるうえ、職員の方とお話する緊張感を味わえます。職員は優しい方ばかりですが、官庁訪問での雰囲気を少しでも掴むためにぜひ参加してみてください。



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール





S.H.

- 1.技術系 工学区分(大卒)
- 2.早稲田大学創造理工学部
- 3.経済産業省、メーカー
- 4.教員の働き方改革、理系人材の育成に関心があります。
- 5.趣味は旅行(世界遺産巡り)、
皇居ラン(今年、フルマラソンに挑戦します!)

研究テーマ・専門分野

私は機械工学を専攻しており、現在、MATLABというプログラミングソフトを使って「リークチェックロボット」の制御に取り組んでいます。
このロボットは、水道メーターの真空に漏れがないかを自動的に検出するシステムです。

今後の意気込み

これから生まれてくる子どもたちをはじめ、すべての人々が「この国に生まれて良かった」と感じられるような、未来の世代に誇れる社会を目指します。

文科省を目指す方へのメッセージ

人生をかけて何をしたいか、どの機関や企業でそれを実現するかを熟考し、問題意識を友人や先生に相談して意見をまとめるとよいと思います。その上で解像度を上げるため説明会やインターンに参加することをおすすめします!



T.T.

- 1.事務系 法律区分(大卒)
- 2.京都大学公共政策教育部
- 3.内閣府、警察庁
- 4.初等中等教育、高等教育
- 5.サークル:演劇、趣味:読書(本も漫画も)、パズル、編み物、散歩

研究テーマ・専門分野

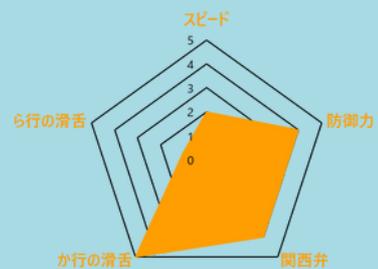
学部時代(法学部)は法律系の科目を中心に履修していました。
大学院では、教育学研究科の講義を聴講させていただきつつ、主に法律と教育を気ままに勉強しています。

文科省に抱いているイメージ

職員の方一人一人が、所掌分野に対し、熱い思いとリスペクトと、その人なりの語る言葉を持っていらっしゃると思います。そしてそれを惜しみなく見せてくださる方が沢山いらっしゃると思います。
そうなりたいですね~

文科省を目指す方へのメッセージ

説明会も職員訪問も、毎日が刺激的で、気づきも反省もどんどんアップデートされるので、その都度書き留めておくとか何かと役立つように思います。
どんな風にも、納得のいく就職活動になるよう、応援しています!



06
インタビュー



07
内定者
プロフィール



T.H.



- 1.事務系 教養区分(大卒)
- 2.一橋大学法学部
- 3.農林水産省、銀行系(官民間問わず)
- 4.高等教育、教育データ
- 5.趣味:野球観戦、昼寝

研究テーマ・専門分野

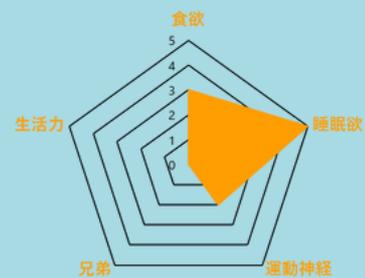
租税法について勉強しています。卒論のテーマは、今後の自動車課税のあり方(仮)です。財務省なのか国交省なのか総務省なのかよくわかりませんが、少なくとも文科省にはかすりもしない論文になることとお誓いいたします。

文科省に抱いているイメージ

みなさんとても穏やかですが、根源的な問題について深く考えられている印象があります。

文科省を目指す方へのメッセージ

私はもっといろんな企業や府省庁を見れば良かったと(選択に悔いは今のところないですが)思うので、気力、体力の範囲で興味の赴くままに見られると良いのではないのでしょうか。



T.N.



- 1.技術系 化学・生物・薬学区分(院卒)
- 2.京都薬科大学大学院薬学専攻
- 3.農林水産省、独立行政法人
- 4.世界に対する日本の研究力の相対的な低下。日本の研究基盤政策。
- 5.部活:軟式テニス部、趣味:読書や模写、サイクリング、水泳、ダイビング

研究テーマ・専門分野

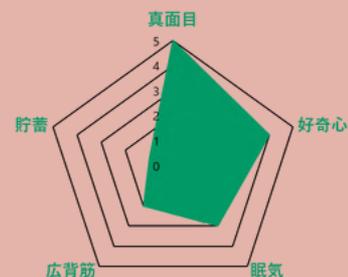
呼吸器官を守る役割を担う線毛細胞(毛が生えた細胞)の線毛運動を活性化させる化合物を探索し、その薬理作用(どういうメカニズムで細胞を活性化するか)を研究していました。

文科省に抱いているイメージ

「人」に興味があって、教育、科学技術・研究、スポーツ、文化の各方面の未来をより良くしようと邁進されている方が多いイメージです。

文科省を目指す方へのメッセージ

周りの友人たちがどんどん就職先を決めていく中で、唯一公務員志望だった私は、いつも不安と戦っていました。大変な時期もあると思いますが、ポテンシャルを最大限に発揮されることを願っております。



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール





N.F.

- 1.事務系 法律区分（大卒）
- 2.慶應義塾大学文学部
- 3.人事院、都庁
- 4.国際理解教育、多文化共生の学校作り、英語教育
- 5.オーケストラ・ミスチル／サザン

研究テーマ・専門分野

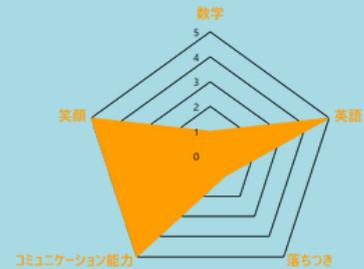
シンガポールでは、会社や学校などの「公式の場」では、文法・語彙の面でシングリッシュの特徴を排した、シンガポール標準英語を使用し、友達や家族間での会話等の「非公式の場」ではシングリッシュという英語変種を使う。このような関係は、ダイグロシアというもので、ダイグロシア社会では場に応じて異なる言語変種が使い分けされている。しかし近年では低学歴層はシングリッシュしか使用しない傾向がある。すると、「エリート層ではシンガポール標準英語を、低学歴層ではシングリッシュを使用する」という二層構造がシンガポール社会に誕生しているのではないか。言語政策や教育政策、意識調査やフィールドワークを通して探求していく。

内々定が決まった時の感想

とても嬉しかったのと同時に
ほっとしました。

文科省を目指す方へのメッセージ

自分らしさを忘れずに、自分の言葉
で素直に伝えることが大事だと思
います。



N.H.

- 1.事務系 教養区分（大卒）
- 2.早稲田大学教育学部
- 3.こども家庭庁、JICA
- 4.IRT
- 5.国際ボランティア（教育支援）

研究テーマ・専門分野

専門は神経心理学です。

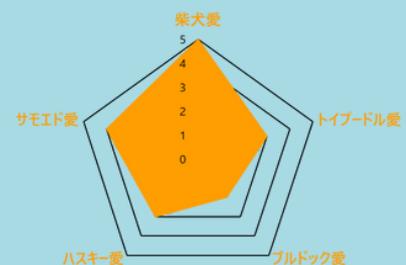
ゼミでは神経心理学の知見をどのように教員養成カリキュラムに活かすことができるのか
というテーマをもって研究に取り組みました。

内々定が決まった時の感想

官庁訪問の期間では、現職の方の政策に対する考えや自分の意見に対するフィードバックを聞いて感動することが多かったのですが、同じ職場で働くことができるんだと思うと、とても嬉しかったです。

文科省を目指す方へのメッセージ

理想の社会や教育についての深い洞察を得るためには自分の価値観を浮き彫りにしていく必要があります。その際、自己分析が重要になってきます。是非、自己分析に力を入れて取り組んでみてほしいと思います。



06
インタビュー



07
内定者
プロフィール





N.N.

- 1.事務系 教養区分(大卒)
- 2.慶應義塾大学文学部教育学専攻
- 3.財務省、こども家庭庁、コンサル
- 4.令和の日本型学校教育、教員の働き方改革
- 5.学習支援ボランティア

研究テーマ・専門分野

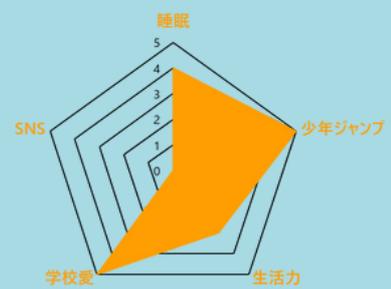
大学では、教育心理学を専攻していて、卒業研究では「オンライン環境と対面環境における非認知能力の差異」について研究しています。対面環境とオンライン環境を比較した際に、感情解読スキルをはじめとした非認知能力にどのような差異が見られるのか、質問紙と実験を組み合わせた量的なアプローチから考察したいと考えています。

文科省に抱いているイメージ

温厚でありながら、仕事に対する情熱を持ち合わせている方が多いイメージです。また、目を輝かせながら、未来を楽しそうに語るポジティブな雰囲気職員さんが多いことも文科省の特徴だと思います。

文科省を目指す方へのメッセージ

国家公務員を目指す上で、様々な不安があるかと思いますが、辛くなった時こそうまく周りを頼ってみてください。就活の時期は人との出会いに溢れています。人との出会いや対話を楽しむ気持ちを忘れずに、全力で走り抜けてもらえればと思います！応援しています！



N.M.

- 1.技術系 数理科学・物理・地球科学区分(院卒)
- 2.千葉大学大学院 融合理工学府 地球環境科学専攻
- 3.厚生労働省(数理・デジタル系)、海上保安庁(技術系)
- 4.教員の働き方改革、科学技術、サイエンスコミュニケーション
- 5.サークル：マジックサークル
趣味：ステージマジック、ゲーム、サウナ
ボランティア経験：東京オリンピック2020、東京マラソン2023

研究テーマ・専門分野

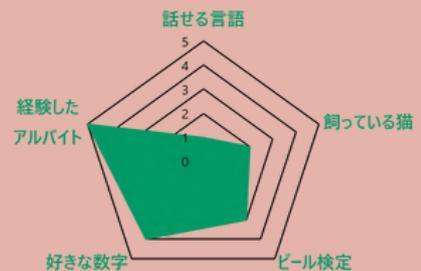
リモートセンシング技術を活用して、大気汚染物質の観測・解析を行う研究室に所属しておりました。気候危機の緩和や適応に向けた、地球大気環境変動の基礎研究です。

内々定が決まった時の感想

これまでの人生で経験した努力や失敗・挫折・成功が全て繋がって報われたと思いました。苦しい期間が長かったけど、それでも諦めずにここまで頑張ってきてよかった...色々な記憶や感情が湧き出て、帰り道で泣きました。

文科省を目指す方へのメッセージ

僕は大学受験を失敗しなくて人生を遠回りしてしまったのですが、その遠回りで出会ったある化学の恩師がきっかけで今の自分が形成されています。人生は結果論です。あきらめずに努力を続け、悔いの無い日々を送ってください。いつの日か、希望を失って打ちひしがれている過去の自分の肩を抱き「君の人生は捨てたものではなかったよ、よくやったね」と、言ってもらえますように。文科省で待ってます！



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール



H.J.



- 1.事務系 教養区分（大卒）
- 2.筑波大学社会学類
- 3.公正取引委員会、会計検査院、金融インフラ
- 4.文科省の所掌全般、本当に全部関心があります！
- 5.サークル：学園祭運営、趣味：散歩・水切り

研究テーマ・専門分野

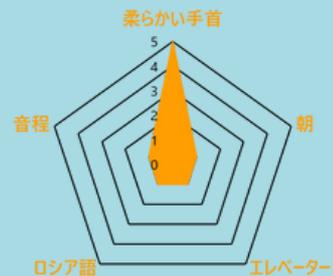
「自由主義と民主主義の計量分析」というタイトルの卒論を執筆しています。大層なテーマを掲げていますが、実際にしていることは、民主主義を要素に分解してそれらが統治機構に対して与える影響を、国際的な世論調査をもとに統計的に分析しているだけ、、、といえただけです。この冊子が発行される頃には書き終えているといいなあ。

内定後なにをしていたか

キルギスタンに1カ月間滞在しました。写真は世界遺産ブランナの塔にて。高さは25メートルしかありませんが、およそ千年前からこの地に建っているらしくびっくり。

文科省を目指す方へのメッセージ

文科省職員の方々と、会って、聞いて、話してください！



H.R.



- 1.事務系 人間科学区分（院卒）
- 2.筑波大学大学院人間総合科学研究群教育学学位プログラム
- 3.こども家庭庁、人事院、大学職員、教育業界
- 4.教員の働き方、スポーツ振興、文化財保護、宗教行政
- 5.軟式野球サークル、スポーツ観戦、寺社仏閣巡り

研究テーマ・専門分野

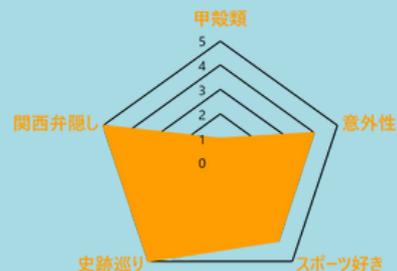
専門は教育制度学・教育行政学で、給特法の成立過程における「職務と勤務の特殊性」について法史学的研究をしています。昨今教員の働き方に際して問題視されている給特法が成立する過程で、学校教員が学校教員であるための条件をどのように導き出し、法律の中に反映をしたのか、またその内容は当時の専門職性論とどのような違いがあるのかについて明らかにすることを試んでいます。

内々定が決まった時の感想

え、まじで???と驚きが全てでした。

文科省を目指す方へのメッセージ

当初民間就職を考えていたのですが、文科行政への関心が捨てきれず挑戦した結果、このようなご縁を頂きました。文科省を目指す方はもちろん、少しでも興味関心がある方も、ぜひ説明会や官庁訪問に参加し、職員の方との対話を通して自身の気持ちに向き合って進路選択をしてほしいと思います！



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール





H.R.

- 1.技術系 化学・生物・薬学区分（院卒）
 - 2.東京科学大学大学院（旧東京医科歯科大学大学院）医歯学総合研究科
 - 3.環境省
 - 4.日本の研究力強化・博士学生の支援
 - 5.サークル：ワンダーフォーゲル部・鳥人間サークル
- 趣味：読書（SF・ミステリー・古典）
ボランティア経験：なし

研究テーマ・専門分野

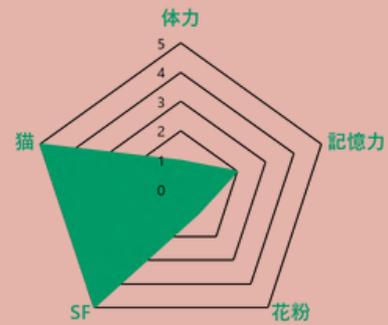
専攻は分子生物学です。
人工的に化学修飾を加えた生体分子による、疾患の治療効果について研究していました。

内定後なにをしていたか

いろいろあって修士2年の夏に研究テーマが変わったので、データ集めのためにひたすら実験していました。学生生活最後なので、観光（と勉強）のために学会や研究会に積極的に参加しました。

文科省を目指す方へのメッセージ

研究活動を通じて感じたことや見聞きしたことが、官庁訪問でとても活きました。



F.N.

- 1.技術系 化学・生物・薬学区分（院卒）
- 2.横浜国立大学大学院 生命医科学研究科 生命医科学専攻
- 3.特許庁
- 4.日本の研究力強化（特に、裾野広く研究を支援する仕組み作りや、高等教育の質向上等）
- 5.プラモデル、落語

研究テーマ・専門分野

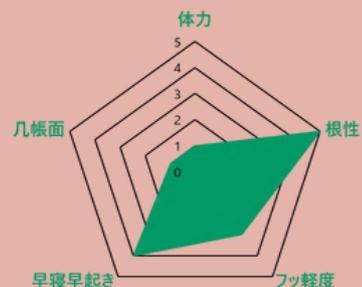
専門は分子細胞生物学です。
DNAとして保存されている遺伝情報を細胞が取り出す仕組みを、出芽酵母を用いて解明しようとしています。

今後の意気込み

問題の本質を見極め、最善の解決策を考え実行できる行政官になれるよう精進します！

文科省を目指す方へのメッセージ

ご自身の興味関心が何か、それを文科省で扱うことができるのか、職員訪問や説明会等に参加しながら、よく悩んでください。
皆様にとってよりよい就職活動になる事を願っております。



06
インタビュー



07
内定者
プロフィール





M.H.

- 1.事務系 教養区分（大卒）
- 2.早稲田大学教育学部
- 3.厚生労働省、教育
- 4.リカレント教育、主体的な学び
- 5.弓道部に所属していました。趣味は銭湯・温泉巡り。
毎週土曜日に学習支援のボランティアに参加していました。

研究テーマ・専門分野

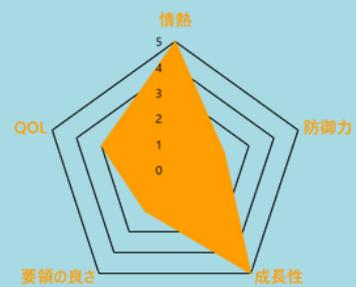
教育行政学を専攻しています。
研究テーマは、「文部科学省の政策誘導が都道府県教育委員会と市町村教育委員会に与える影響」です。

今後の意気込み

仲間と励まし合いながら、貪欲に学ぶ姿勢を忘れずに仕事に取り組むことで、日々成長していきたいです。10年後の地方出向までに、どこに行っても通用する行政官としての技術と実力を身につけることが今の目標です。

文科省を目指す方へのメッセージ

文科省を目指すことは簡単な道のりではないと思いますが、その過程で得た経験や人脈は今後どのような人生を送るとしても必ず役に立ちます。ですので、失敗を過度に恐れず、自分の全力をぶつけてください！応援しています！



M.M.

- 1.事務系 経済区分（大卒）
- 2.東北大学経済学部
- 3.厚生労働省
- 4.不登校施策
- 5.サークル：バスケットボール、ボランティア：学習支援、児童館

研究テーマ・専門分野

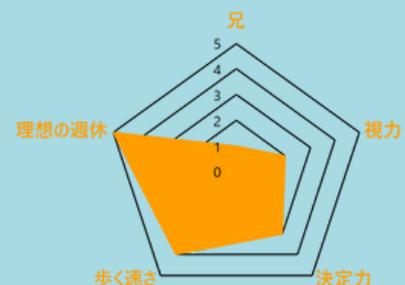
NPOについて研究しています。特に学習支援による子どもたちの自己効力感への影響について、インタビュー調査をもとにした質的研究をしています。

今後の意気込み

長期的な見方を持ちつつも、現場の持つ切迫感を忘れずになりたいと考えています。縁を大事に人として成長していきたいです。

文科省を目指す方へのメッセージ

心からの言葉がそうでないかは相手に伝わるものと考えています。文科省のミッションと自分の揺るがせない信念とが重なる部分を探してみたいかががでしょうか。



06
インタビュー



07
内定者
スロフィール



M.S.



- 1.技術系 工学区分（大卒）
- 2.日本大学生産工学部
- 3.経済産業省、環境省、建設業界
- 4.航空宇宙分野、スタートアップ支援、イノベーション支援
- 5.硬式ソフトボール部に所属していました。最近の趣味は東京の銭湯巡りです。

研究テーマ・専門分野

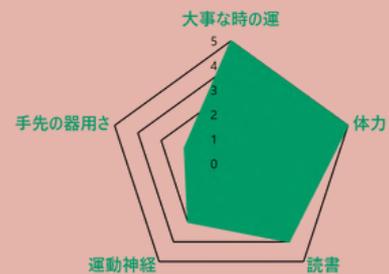
専門分野は環境工学でSDGsに関することを幅広く学んでおります。
研究テーマは、リモートセンシングによる地球環境の分析です。具体的には、人工衛星を用いて森林面積を可視化したものなどから、地球環境の変化を分析する研究を行っています。

今後の意気込み

まずは、少しでも早く文部科学省や日本に貢献できるように頑張りたいです。そのうえで、将来的には海外留学や出向なども含めて様々なことに挑戦していきたいと思っていますので、日々成長していきたいと思っています。

文科省を目指す方へのメッセージ

自分の経歴等は気にせずに、ぜひ挑戦していただきたいと思います。また、就職先の選択は、この先の人生何十年分の選択という可能性もあるので、後悔のないように貴重な時間を過ごしてほしいと思います。



M.K.



- 1.事務系 教養区分（大卒）
- 2.京都大学文学部
- 3.農林水産省、こども家庭庁、地方自治体
- 4.初等中等教育（特別活動、道徳教育など）、文化芸術（博物館振興、担い手育成など）
- 5.サークル：こども食堂・趣味：植物観賞、書道

研究テーマ・専門分野

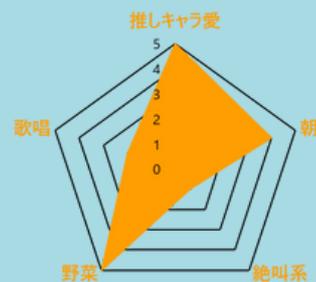
地理学を専攻しています。農業や食文化の地域性に興味があり、卒業研究は京野菜をテーマにしています。

今後の意気込み

「誰もが心豊かに暮らすことができる社会」に貢献したいという思いから、文科省を目指しました。初心を大切にしながら、文科省の所掌分野や日々変化していく現場を学び続けていきます。

文科省を目指す方へのメッセージ

私自身、進路選択にかなり時間をかけましたが、その過程で経験豊富な職員の方々や様々な関心をもつ志望者とお話する機会をいただきました。そのご縁があって、人生をかけて尽力したい分野に出会うことができたと感じています。
就職活動での出会いを大切に、納得のいく選択ができることを心から願っています。



W.K.



- 1.事務系 教養区分(大卒)
- 2.東京大学法学部
- 3.国土交通省
- 4.教育制度改革
- 5.マジックサークルに所属しており、ステージマジックが大好きです。

研究テーマ・専門分野

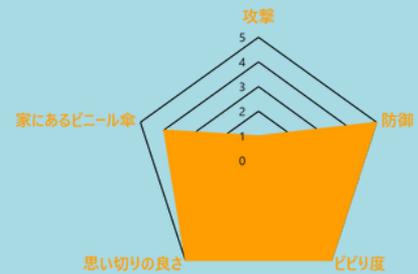
国際法を専攻しています。世界中の人々の基本的自由権を保障する自由権規約について、どうあるべきか、どう守られていくべきかを研究・議論しています。

今後の意気込み

多くのことに興味を持つことが出来るのが私の長所だと思うので、入省後はとにかく全てに関心を持ち、頂いた仕事に前向きに取り組みたいです。

文科省を目指す方へのメッセージ

私は文部科学省への就職活動を通して、今までで一番成長できたと感じています。思い悩む場面があっても、「これを機に成長してやるぞ!」と思って自分を奮い立たせるのがおすすめです。応援しています。



コラム

なにをする? 内々定後

2024年度は内々定後から入省まで以下のイベントがありました。
(年度によってイベント内容、時期は異なります)

- ◇ 内々定 → 内々定式 (6/24: 官庁訪問最終日)
- ◇ 内定式 (10/1)
- ◇ 施設見学会 (任意): 東京国立博物館 (12/13)
- ◇ ゼロイチ会 (任意): 一年目職員の方との懇親会 (見学会と同じ日)

また、その間内定者間では、以下のイベントを行いました。

- 内々定式後、内定式後のご飯会
- 内定者パンフレットの作成 (10月~2月)
- 事務系: 合宿 (2月、兵庫・大阪観光)
- 技術系: 山梨旅行 (3月)
- 他府省庁合同のフットサル大会 (3月)

その他、全体のイベントの他に数人でのご飯会等も開催されていました。

入省までに様々なイベントがあり、内定者同士はもちろん、職員の方ともコミュニケーションをとれる機会がたくさんあります!

また、一年目職員の方から内定者へのお役立ち情報をまとめたものを頂きました。
新生活を迎える上で、参考にできる情報が盛り沢山です!



『令和6年度版 文部科学省総合職内定者の声』を最後までご覧いただき
ありがとうございます。

多様なバックグラウンドを持つ内定者それぞれが入省にあたって、
等身大で抱えている未来への希望を感じ取っていただけましたでしょうか。

本冊子では内定者の「声」が皆様に伝わるよう、
文体はあえて統一しておりません。

また、進路について悩みを抱える皆様の手助けとなれるよう、
実際に内定者が就職活動中に抱えていた悩みや不安もありのまま掲載いたしました。

内定者の人柄や想いが詰まった本冊子が、文部科学省に興味を持つきっかけと
なれば編集チームとしてこれ以上の喜びはありません。

皆様の真摯な努力が実を結びますこととお祈り申し上げますとともに、
皆様に直接お会いできることを心から楽しみにしております。

『令和6年度版 文部科学省総合職内定者の声』
編集チームメンバー 一同

発行日：2025年3月 初版発行
発行者：令和6年度文部科学省総合職内定者一同

※販売・無断転載禁止※

本冊子は内定者自身の体験を基にして作成したもので、
就職活動における文部科学省からの公式見解ではありません。
掲載した内容は、2024年度時点のもので、正確を期しておりますが、
誤りがあり読者の方が不利益を被った場合でも、
その不利益に関してその一切の責任を負いません。